

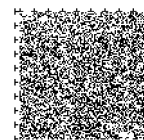
新宿区

障害者生活実態調査報告書

概要版

令和8年3月
新宿区

右のマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



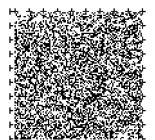
新宿区

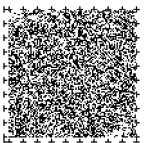
障害者生活実態調査報告書

概要版

目次

調査の目的と方法	1
① 在宅の方を対象とした調査	4
② 施設に入所している方を対象とした調査	18
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査.....	24
④ サービス事業者を対象とした調査.....	38





調査の目的と方法

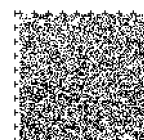
(1)調査の目的

令和8年度に策定する「第4期新宿区障害児福祉計画及び第8期新宿区障害福祉計画(令和9年度から令和11年度まで)」(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業の提供体制の確保に関する計画)の策定及び「障害者計画」の見直しを行うために実施しました。

(2)調査の対象と抽出方法

■調査対象

① 在宅の方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区在住の障害者で18歳以上の方 ○ 身体障害者:身体障害者手帳所持者 ○ 知的障害者:愛の手帳所持者 ○ 精神障害者:精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療(精神通院医療)受給者 ○ 難病患者:難病医療の給付を受けている方
抽出方法	障害種別ごとに層化抽出調査 ※ グループホーム・福祉ホーム利用者、強度行動障害の状況にある方は悉皆調査
② 施設に入所している方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区が施設入所支援と療養介護の支給決定を行っている方 (区民であった方で、施設所在地に住民票を移した方を含む)
抽出方法	悉皆調査
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区在住の障害児とその保護者の方 ○ 身体障害児:身体障害者手帳所持者 ○ 知的障害児:愛の手帳所持者 ○ 精神障害児:精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療(精神通院医療)受給者 ○ 難病患者:難病医療の給付を受けている方 ○ 障害者手帳を不所持で障害福祉サービス・地域生活支援事業・児童福祉法に基づく障害児通所支援を現に利用している児童
抽出方法	悉皆調査
④ サービス事業者を対象とした調査	
調査対象	◇新宿区内の指定障害福祉サービス等事業者
抽出方法	悉皆調査



■強度行動障害の状況にある方への悉皆調査について

今回の調査においては、前述の「■調査対象」における①～③の調査について、「強度行動障害」の状況にある方に対して悉皆で調査票を送付しました。

○「強度行動障害」とは

自分の体を叩いたり食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど本人の健康を損ねる行動、他人を叩いたり物を壊す、大泣きが何時間も続くなど周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことを表します。

○悉皆で送付する対象について

対象者	「行動関連項目」の点数が10点以上となっている方
-----	--------------------------

○「行動関連項目」とは

障害支援区分認定調査*の認定調査項目である、「コミュニケーション」・「説明の理解」・「大声・奇声を出す」・「自傷・他害」などの11項目に、医師意見書のてんかんの項目を加えた12項目が行動関連項目とされ、各項目に0～2点の重みづけを行い、24点満点としています。

障害福祉サービスでは、この項目の点数が24点中10点以上の方を「強度行動障害」に係る支援の対象としています。

* 障害福祉サービスの受給に必要な手続として、受給申請者に対して行う聞き取り調査

(3)基準日

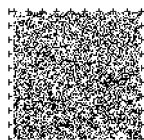
令和7年10月1日

(4)調査方法

配布は郵送方式、回答収集は郵送方式又はWeb回答方式

(5)調査期間

令和7年11月17日(月)～12月8日(月)の期間に実施しました。



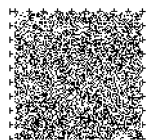
(6)配布・回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	うちWEB回答	有効回収数に占めるWEB回答の割合	白票無効票	有効回収数	有効回収率
① 在宅の方を対象とした調査	5,190	2,568	541	21.1%	3	2,565	49.4%
② 施設に入所している方を対象とした調査	193	126	17	13.5%	0	126	65.3%
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査	1,320	705	332	47.1%	0	705	53.4%
④ サービス事業者を対象とした調査	217	165	86	52.1%	0	165	76.0%
全体	6,920	3,564	976	27.4%	3	3,561	51.5%

※ 配布後、宛先不明等の理由で返送された場合は、配布数から除いてあります。

◆ 調査結果の見方について

- ① 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)を全て合計しても、100%にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を越えます。
- ③ 回答結果を見やすくするため、調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢などを一部簡略化している場合があります。
- ④ 障害別の集計では、2つ以上の障害がある方は、それぞれの障害の集計結果に含まれています。このため、障害別の集計を合計したのべ人数は、全体の人数よりも多くなります。
- ⑤ 前回調査比較は、令和4年度に実施した調査と比較をしています。



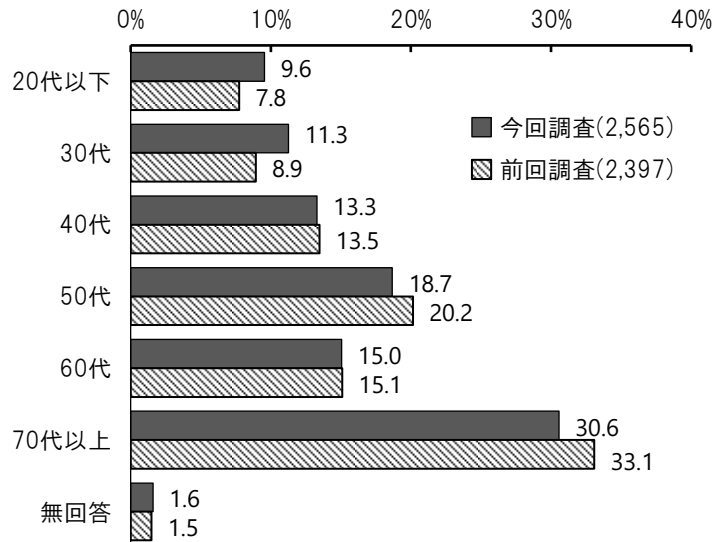
① 在宅の方を対象とした調査

(1) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「70代以上」が30.6%

- ・全体では、「70代以上」が30.6%で最も多く、次いで「50代」が18.7%、「60代」が15.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「70代以上」、知的障害は「20代以下」、精神障害は「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「20代以下」が多くなっています。

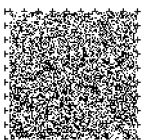
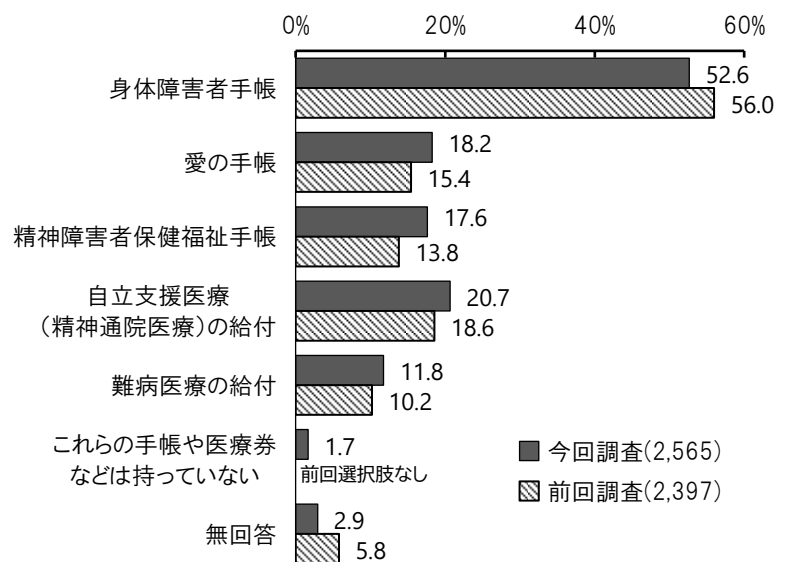


(2) 手帳や医療券の種類 [複数回答]

問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

◆「身体障害者手帳」が52.6%

- ・全体では、「身体障害者手帳」が52.6%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院医療)の給付」が20.7%、「愛の手帳」が18.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害では9.1%が難病医療の給付を受けています。知的障害では17.7%、精神障害では13.4%、難病・特定疾患では40.7%がそれぞれ身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が9割以上と多くなっています。

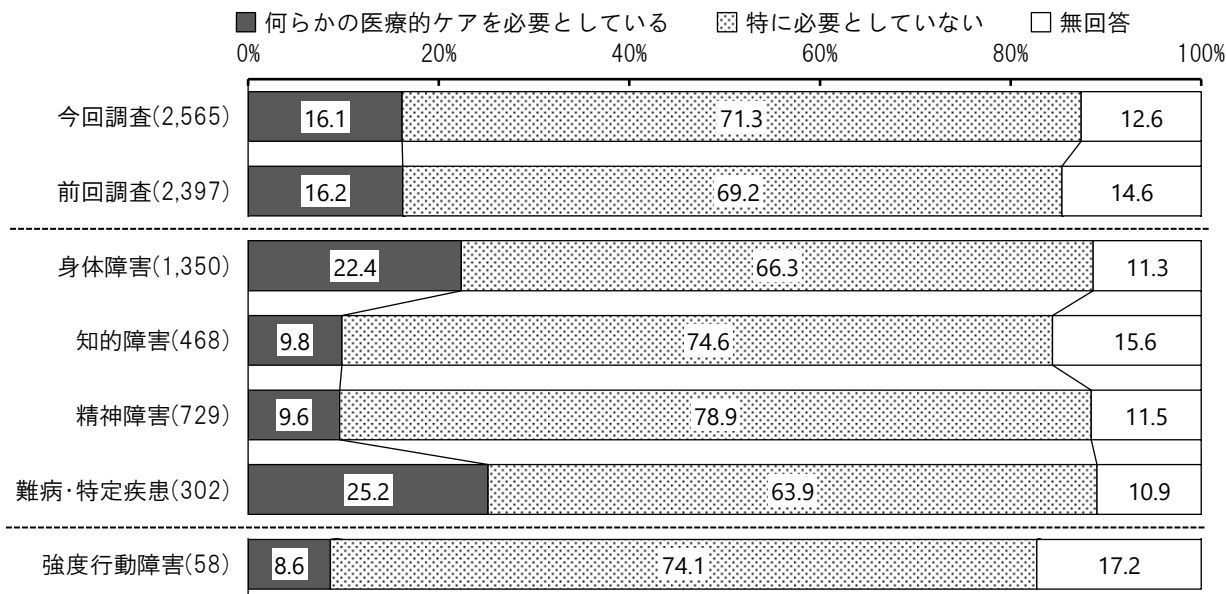


(3) 医療的ケアの必要性

問8 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が16.1%

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は16.1%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

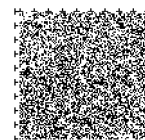
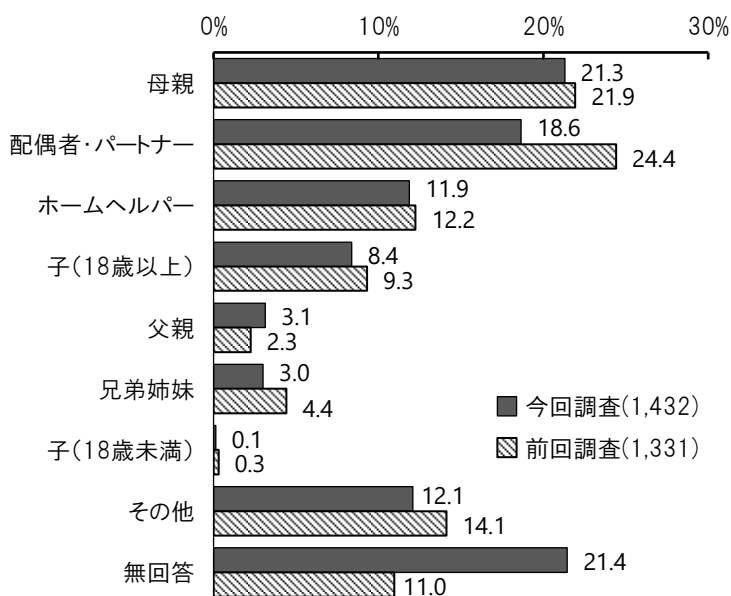


(4) 主な介助者

問11 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。あなたを介助・支援している人はどなたですか。【主な介助者】についてお答えください。

◆「母親」が21.3%

- ・全体では、「母親」が21.3%で最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が18.6%、「ホームヘルパー」が11.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「配偶者・パートナー」、知的障害と精神障害は「母親」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「母親」が7割以上と多くなっています。

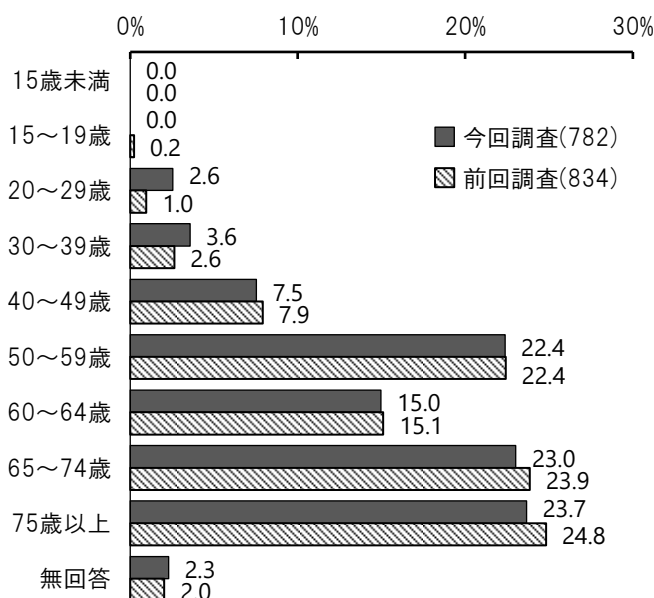


(5) 主な介助者の年齢

問12 ご家族が介助・支援している方にお聞きします。あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。(○はひとつ)

◆「75歳以上」が23.7%

- ・全体では、「75歳以上」が23.7%で最も多く、次いで「65～74歳」が23.0%、「50～59歳」が22.4%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「75歳以上」、知的障害は「65～74歳」、精神障害は「50～59歳」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「65～74歳」が多くなっています。

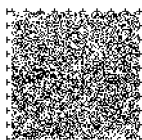
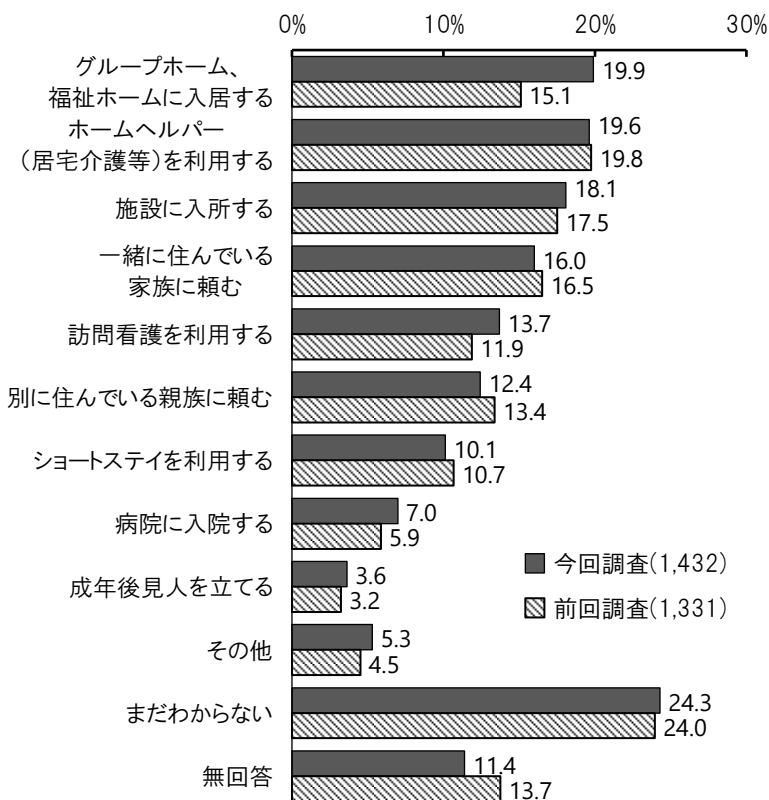


(6) 介助や支援をできなくなった場合 [複数回答]

問14 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。(○はいくつでも)

◆「グループホーム、福祉ホームに入居する」が19.9%

- ・全体では、「グループホーム、福祉ホームに入居する」が19.9%で最も多く、次いで「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」が19.6%、「施設に入所する」が18.1%などとなっています。「まだわからない」は24.3%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する」、知的障害と精神障害は「グループホーム、福祉ホームに入居する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームに入居する」が6割以上と多くなっています。



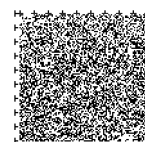
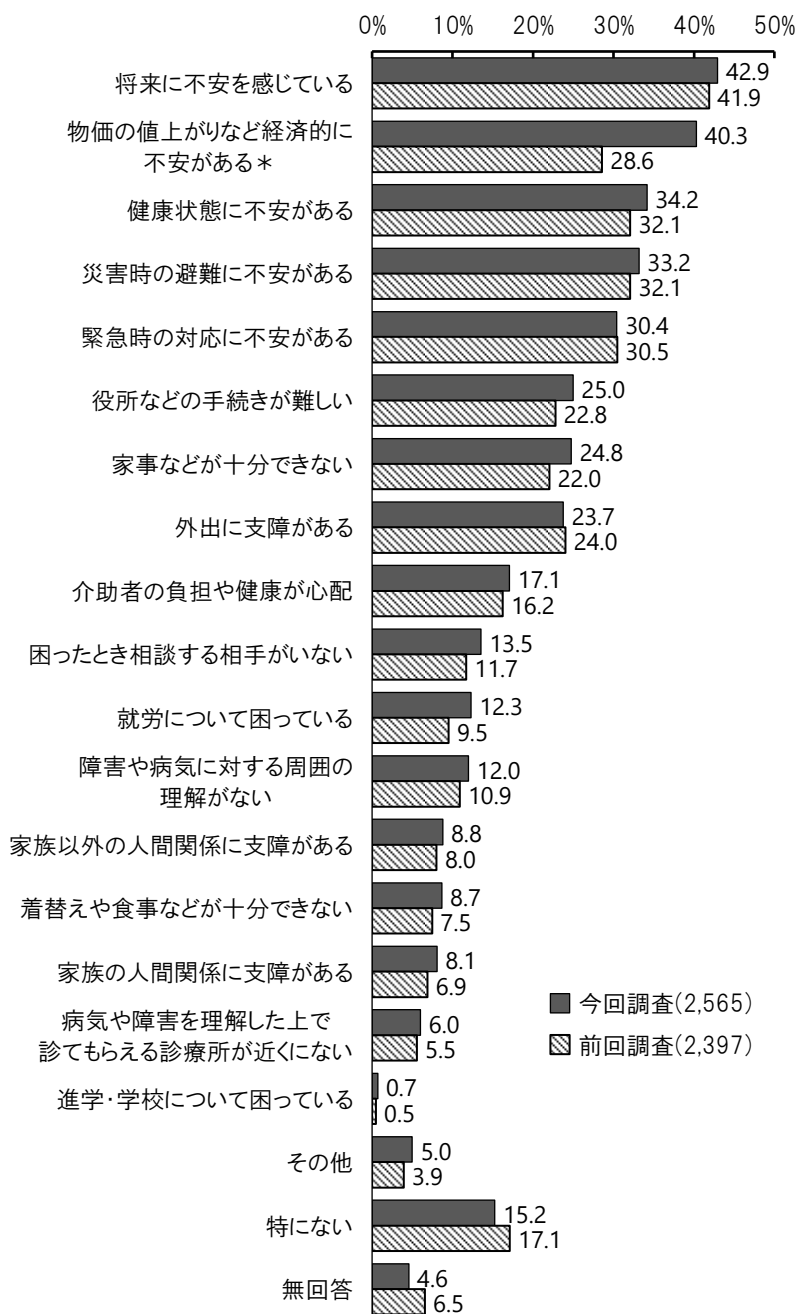
(7)日常生活で困っていること [複数回答]

問15 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

◆「将来に不安を感じている」が42.9%

- ・全体では、「将来に不安を感じている」が42.9%で最も多く、次いで「物価の値上がりなど経済的に不安がある」が40.3%、「健康状態に不安がある」が34.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「災害時の避難に不安がある」、知的障害は「役所などの手続きが難しい」、精神障害は「将来に不安を感じている」、難病・特定疾患は「健康状態に不安がある」と「将来に不安を感じている」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「緊急時の対応に不安がある」と「災害時の避難に不安がある」が7割以上と多くなっています。

* 前回調査では、選択肢「経済的に不安がある」

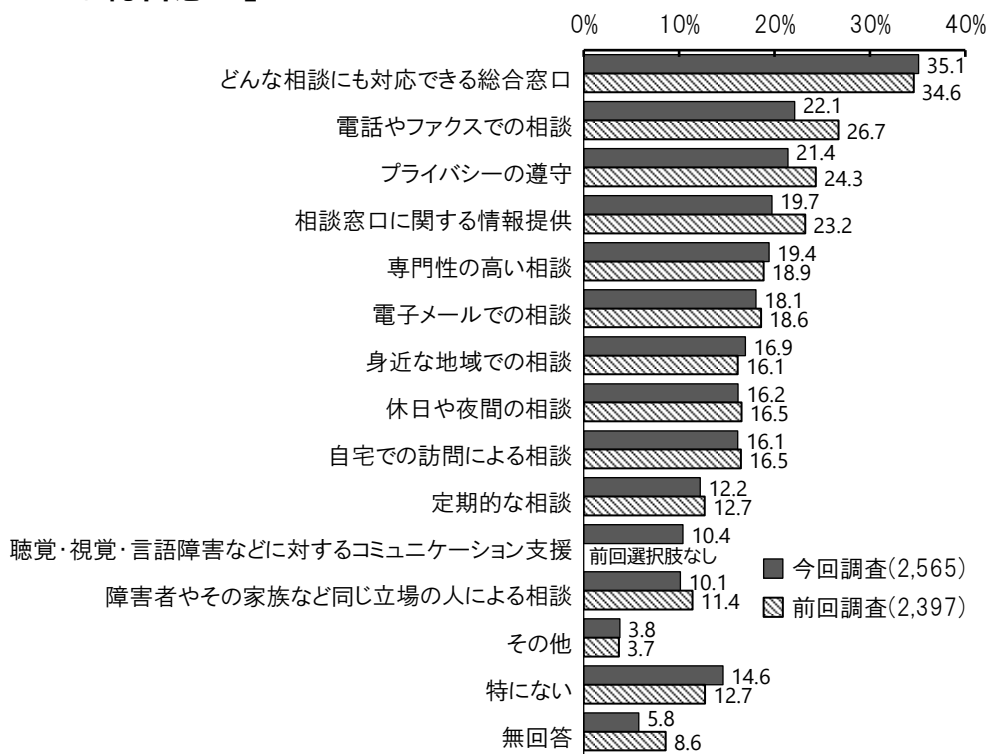


(8)気軽に相談するために必要なこと [複数回答]

問17 あなたは、区役所や基幹相談支援センターなどに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「どんな相談にも対応できる総合窓口」が35.1%

・全体では、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が35.1%で最も多く、次いで「電話やファクスでの相談」が22.1%、「プライバシーの遵守」が21.4%などとなっています。



(9)過去1年間に利用した通信機器の機能・サービス [複数回答]

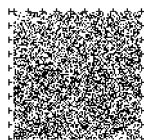
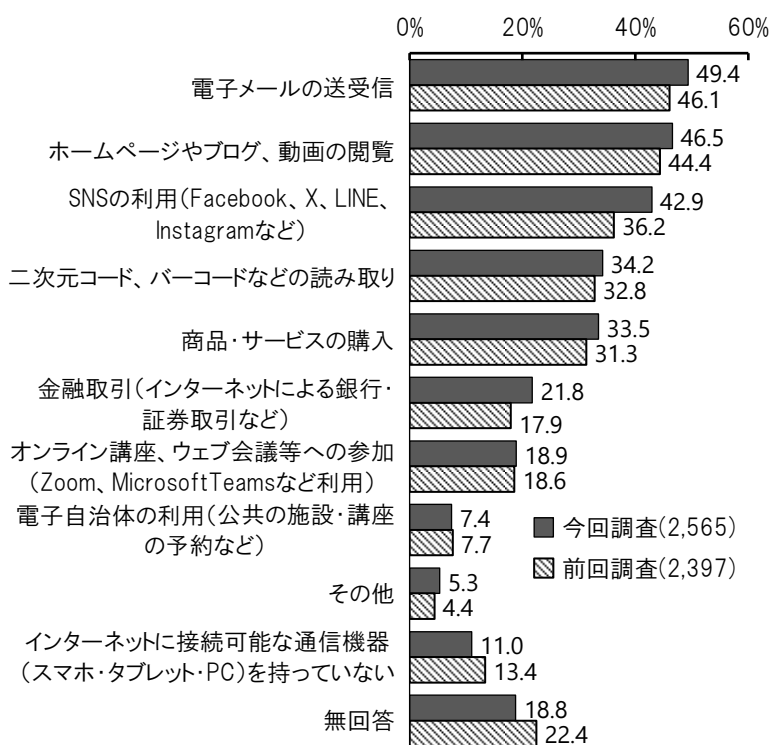
問19 あなたが、過去1年間に利用した、通信機器を使った機能・サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「電子メールの送受信」が49.4%

・全体では、「電子メールの送受信」が49.4%で最も多く、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が46.5%、「SNSの利用(Facebook、X、LINE、Instagramなど)」が42.9%などとなっています。

・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「電子メールの送受信」、知的障害は「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

・強度行動障害では、「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

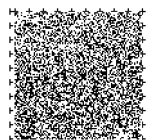
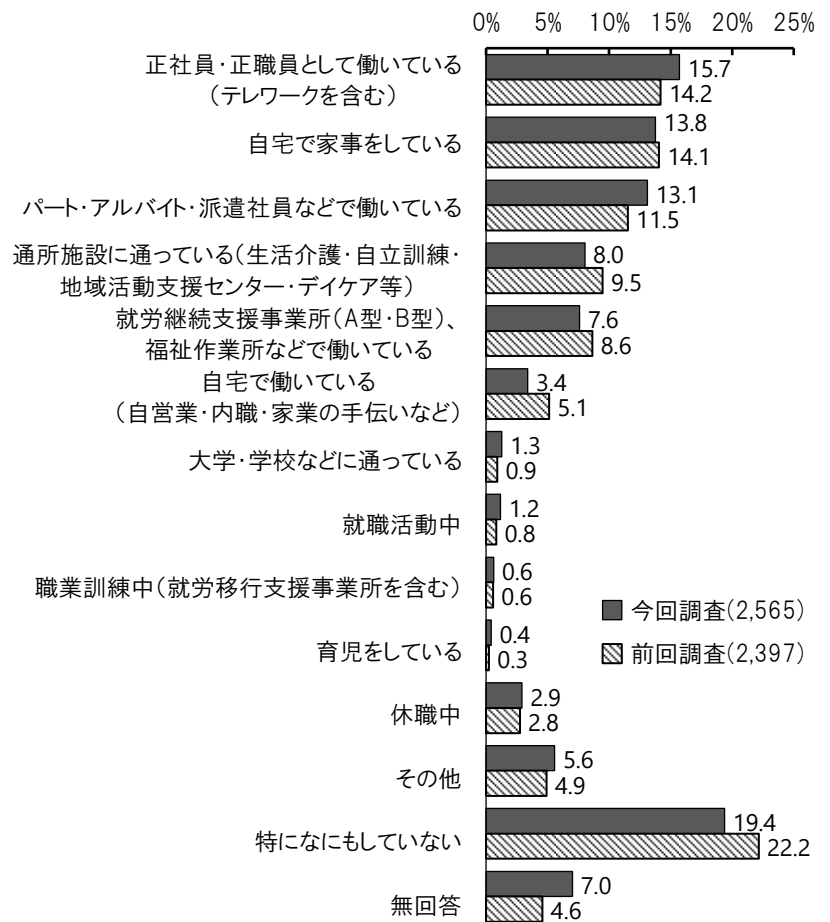


(10)日中の過ごし方

問20 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇はひとつ)

◆「特になにもしていない」が19.4%

- ・全体では、「特になにもしていない」が19.4%で最も多く、次いで「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が15.7%、「自宅で家事をしている」が13.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「特に何もしていない」、知的障害は「就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いている」、精神障害は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」と「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」、難病・特定疾患は「正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「通所施設に通っている(生活介護・自立訓練・地域活動支援センター・デイケア等)」が5割以上と多くなっています。

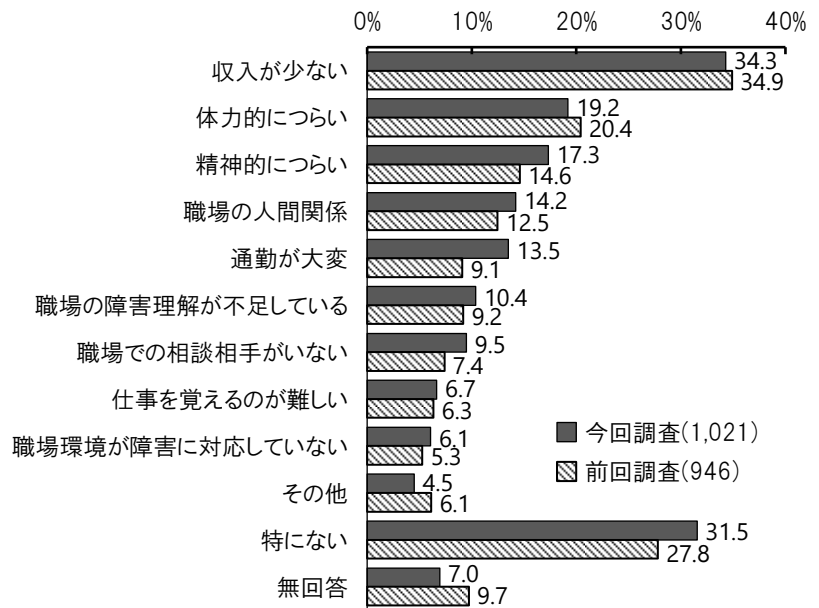


(11)仕事上の困りごと [複数回答]

問22 就労している方にお聞きします。仕事をする上で困っていることはありますか(○はいくつでも)

◆「収入が少ない」が34.3%

・「収入が少ない」が34.3%で最も多く、次いで「体力的につらい」が19.2%、「精神的につらい」が17.3%などとなっています。「特にない」は31.5%となっています。

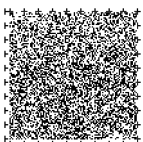
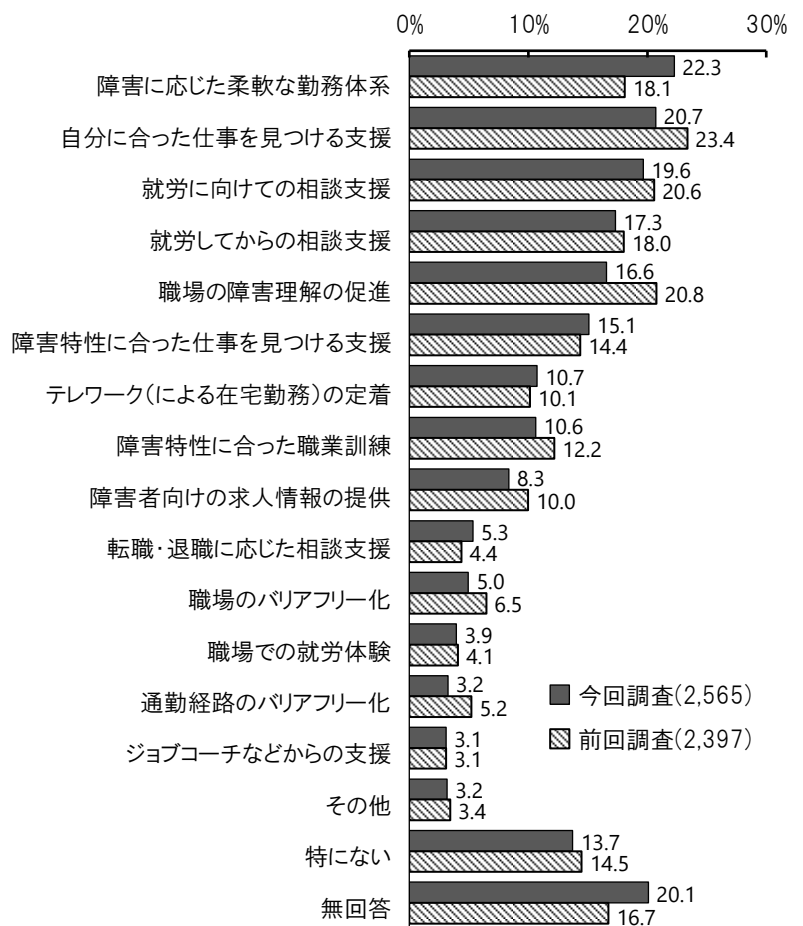


(12)就労のために必要な支援等 [複数回答]

問24 障害のある方が企業などで働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

◆「障害に応じた柔軟な勤務体系」が22.3%

- ・全体では、「障害に応じた柔軟な勤務体系」が22.3%で最も多く、次いで「自分に合った仕事を見つける支援」が20.7%、「就労に向けての相談支援」が19.6%などとなっています。「特にない」は13.7%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「障害に応じた柔軟な勤務体系」、知的障害は「自分に合った仕事を見つける支援」、精神障害は「就労に向けての相談支援」と「自分に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「障害特性に合った仕事を見つける支援」が多くなっています。

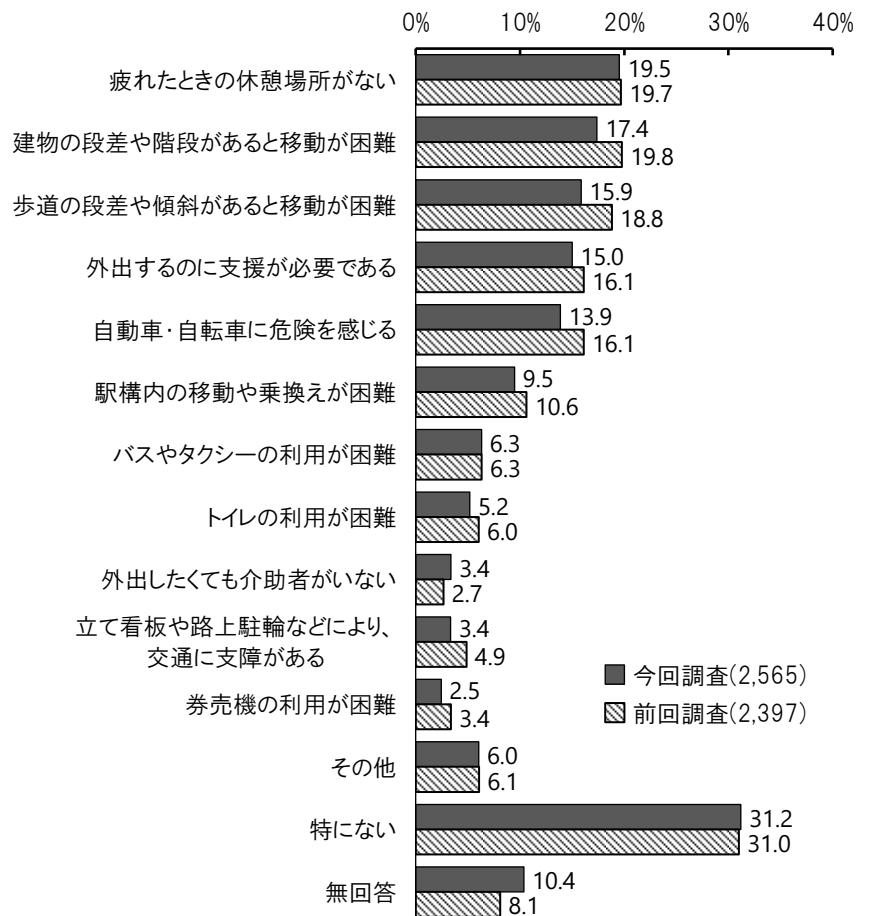


(13)外出に関して困っていること [複数回答]

問25 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(○は3つまで)

◆「疲れたときの休憩場所がない」が19.5%

- ・全体では、「疲れたときの休憩場所がない」が19.5%で最も多く、次いで「建物の段差や階段があると移動が困難」が17.4%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が15.9%などとなっています。「特にない」は31.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害は「疲れたときの休憩場所がない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出するのに支援が必要である」が6割以上と多くなっています。

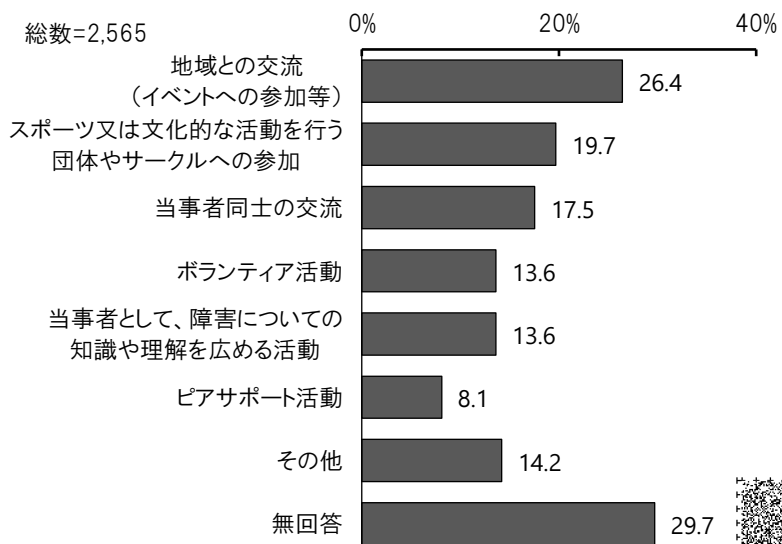


(14)興味・関心のある社会参加 [複数回答]

問26 あなたは、地域との交流やボランティア活動などの社会参加について、どのようなことに興味・関心がありますか。(○はいくつでも)

◆「地域との交流(イベントへの参加等)」が26.4%

- ・「地域との交流(イベントへの参加等)」が26.4%で最も多く、次いで「スポーツ又は文化的な活動を行う団体やサークルへの参加」が19.7%、「当事者同士の交流」が17.5%などとなっています。

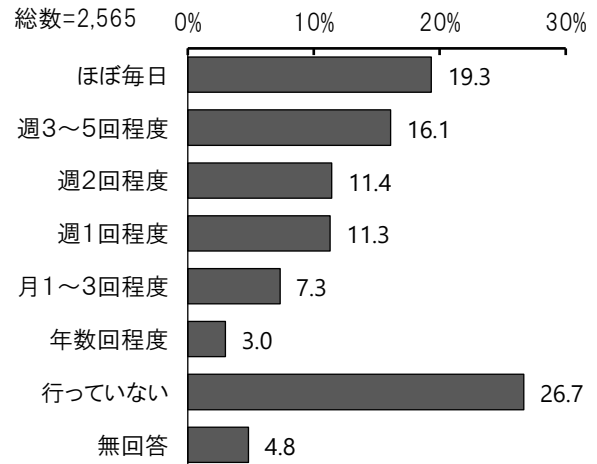


(15)スポーツや運動をする頻度

問27 あなたが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

◆「行っていない」が26.7%

- ・全体では、「行っていない」が26.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が19.3%、「週3～5回程度」が16.1%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患は共に「行っていない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「週1回程度」が多くなっています。



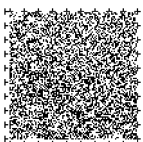
(16)障害福祉サービス等の利用状況、利用意向

問29 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いませんか。

◆『サービスの需要』は、「タクシー利用券」が32.1%

- ・全体では、「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「タクシー利用券」が32.1%、「居宅介護(ホームヘルプ)」が20.5%、「自立支援医療」が19.3%などとなっています。
- ・強度行動障害では、『サービスの需要』は「移動支援事業」が多くなっています。

	障害福祉サービス等	現在利用している(a)	2～3年以内に利用したい(b)	サービスの需要(a+b)
1	タクシー利用券	22.2%	9.9%	32.1%
2	居宅介護(ホームヘルプ)	11.0%	9.4%	20.5%
3	自立支援医療	15.4%	3.9%	19.3%
4	相談支援事業	9.1%	8.6%	17.7%
5	補装具費の支給等	9.6%	6.3%	15.9%
6	移動支援事業	7.9%	6.2%	14.1%
7	日常生活用具給付事業	6.7%	7.3%	13.9%
8	短期入所(ショートステイ)	5.5%	8.0%	13.5%
9	共同生活援助(グループホーム)	5.8%	5.8%	11.6%
10	生活介護	6.4%	4.6%	11.0%



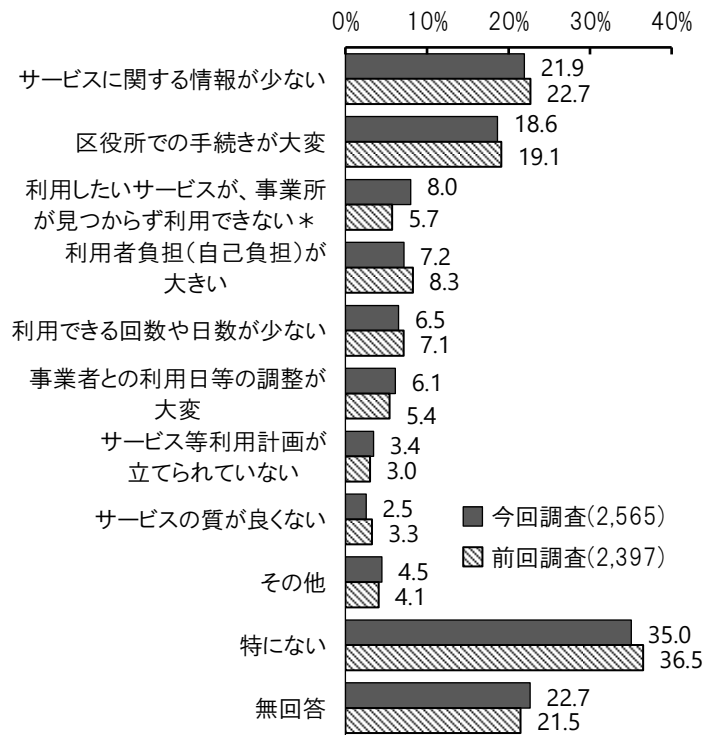
(17)サービス利用に関して困っていること [複数回答]

問30 あなたは、サービス利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

◆「サービスに関する情報が少ない」が21.9%

- ・全体では、「サービスに関する情報が少ない」が21.9%で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が18.6%、「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が8.0%などとなっています。「特にない」は35.0%となっています。
- ・強度行動障害では、「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

* 前回調査では、選択肢「利用したいサービスが利用できない」

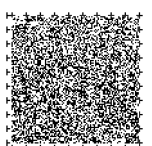
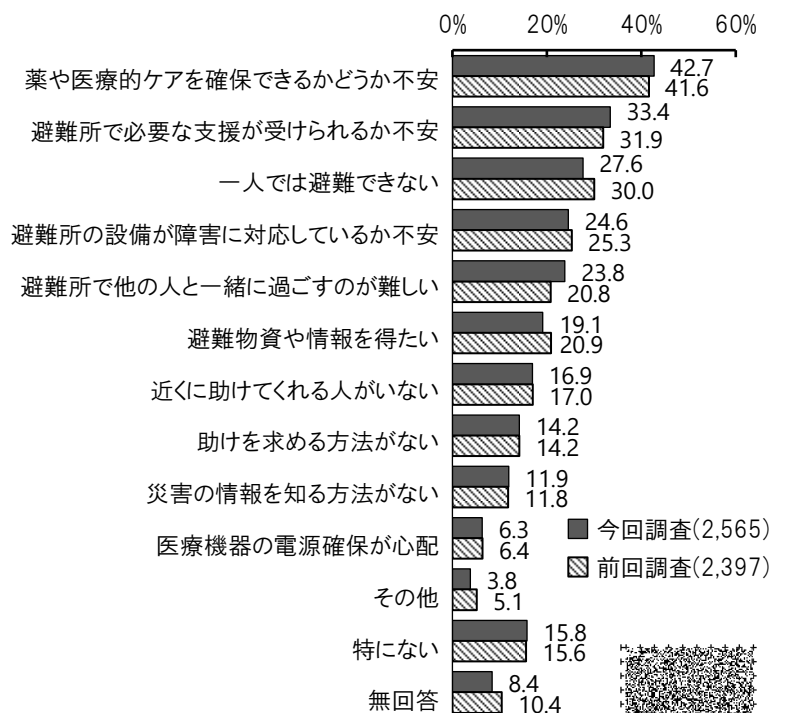


(18)災害が発生したときに困ること [複数回答]

問34 あなたが、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

◆「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が42.7%

- ・全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が33.4%、「一人では避難できない」が27.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、知的障害は「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「一人では避難できない」が7割以上と多くなっています。

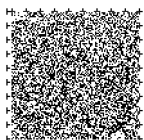
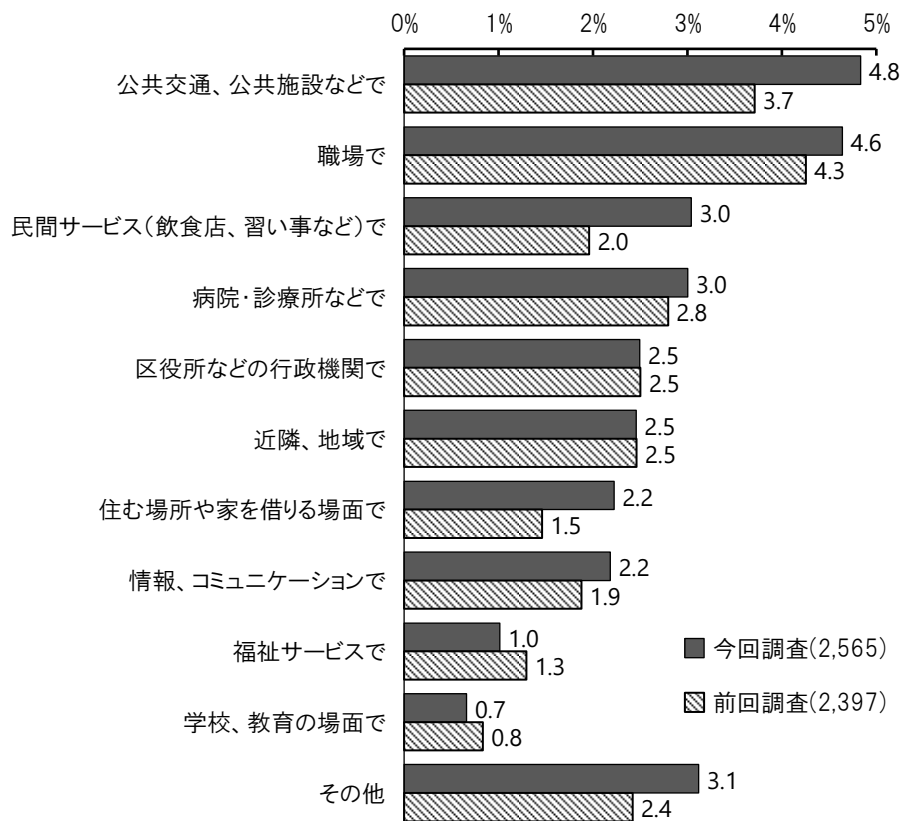
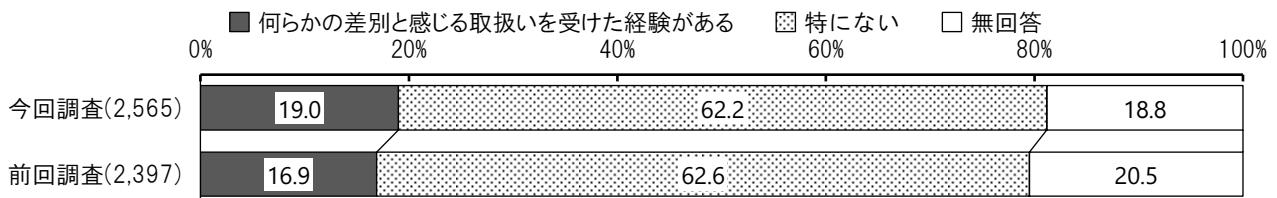


(19)差別と感ずる取扱いを受けた経験 [複数回答]

問36 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

◆『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は**19.0%**、
「公共交通、公共施設などで」が**4.8%**

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は19.0%となっています。
- ・全体では、「公共交通、公共施設などで」が4.8%で最も多く、次いで「職場で」が4.6%、「民間サービス(飲食店、習い事などで)」と「病院・診療所などで」が3.0%などとなっています。「特にない」は62.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害は「職場で」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「公共交通、公共施設などで」が多くなっています。

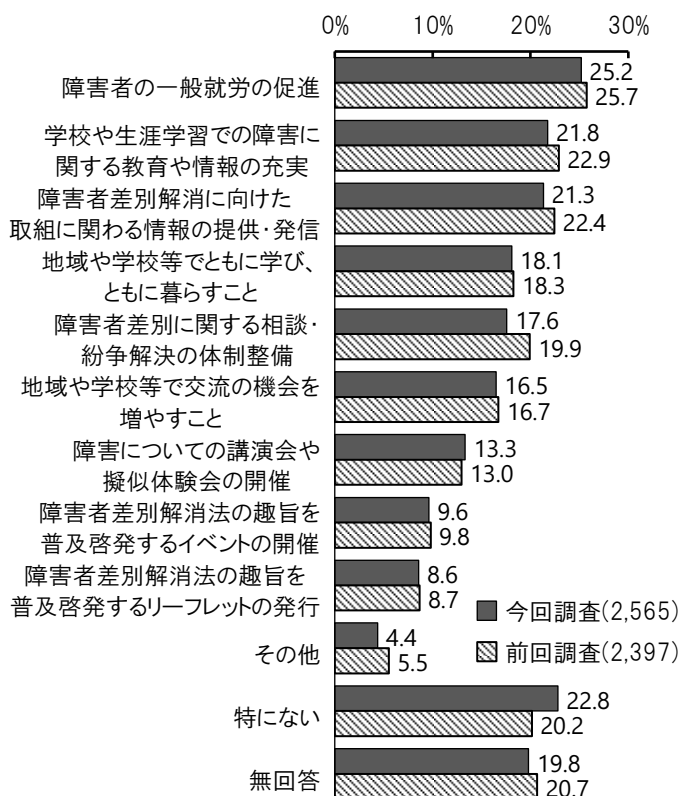


(20)障害者差別の解消のために力を入れるべきこと [複数回答]

問38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「障害者の一般就労の促進」が25.2%

- ・全体では、「障害者の一般就労の促進」が25.2%で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が21.8%、「障害者差別解消に向けた取組に関する情報の提供・発信」が21.3%などとなっています。「特にない」は22.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、難病・特定疾患で共に「障害者の一般就労の促進」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

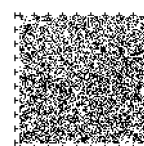
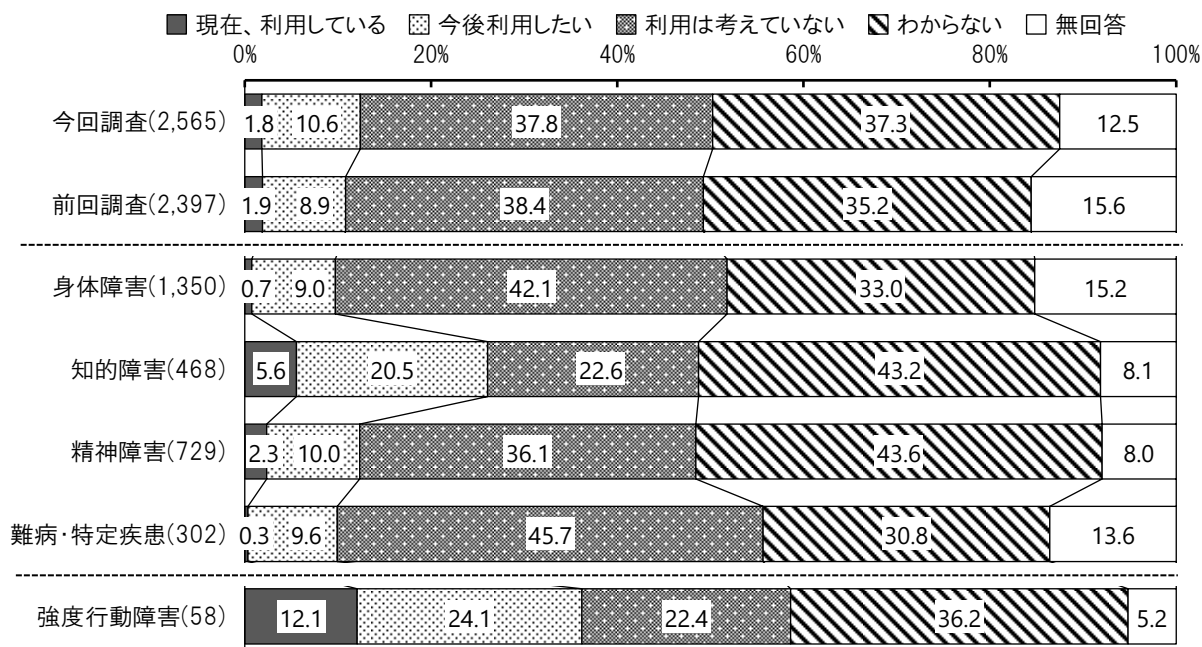


(21)成年後見制度の利用意向

問39 成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

◆「今後利用したい」が10.6%に対し、「利用は考えていない」は37.8%

- ・全体では、「利用は考えていない」が37.8%で最も多く、次いで「わからない」が37.3%、「今後利用したい」が10.6%、「現在、利用している」が1.8%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、知的障害は「現在、利用している」と「今後利用したい」が多くなっています。

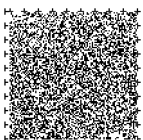
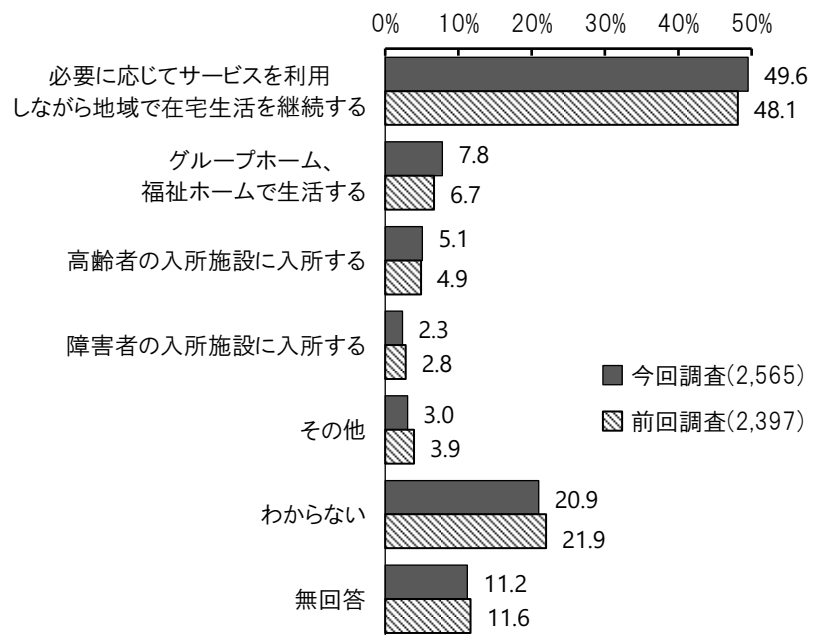


(22)今後の生活の希望

問41 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が49.6%

- ・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が49.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が7.8%、「高齢者の入所施設に入所する」が5.1%などとなっています。「わからない」は20.9%となっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」、知的障害は「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。

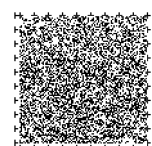
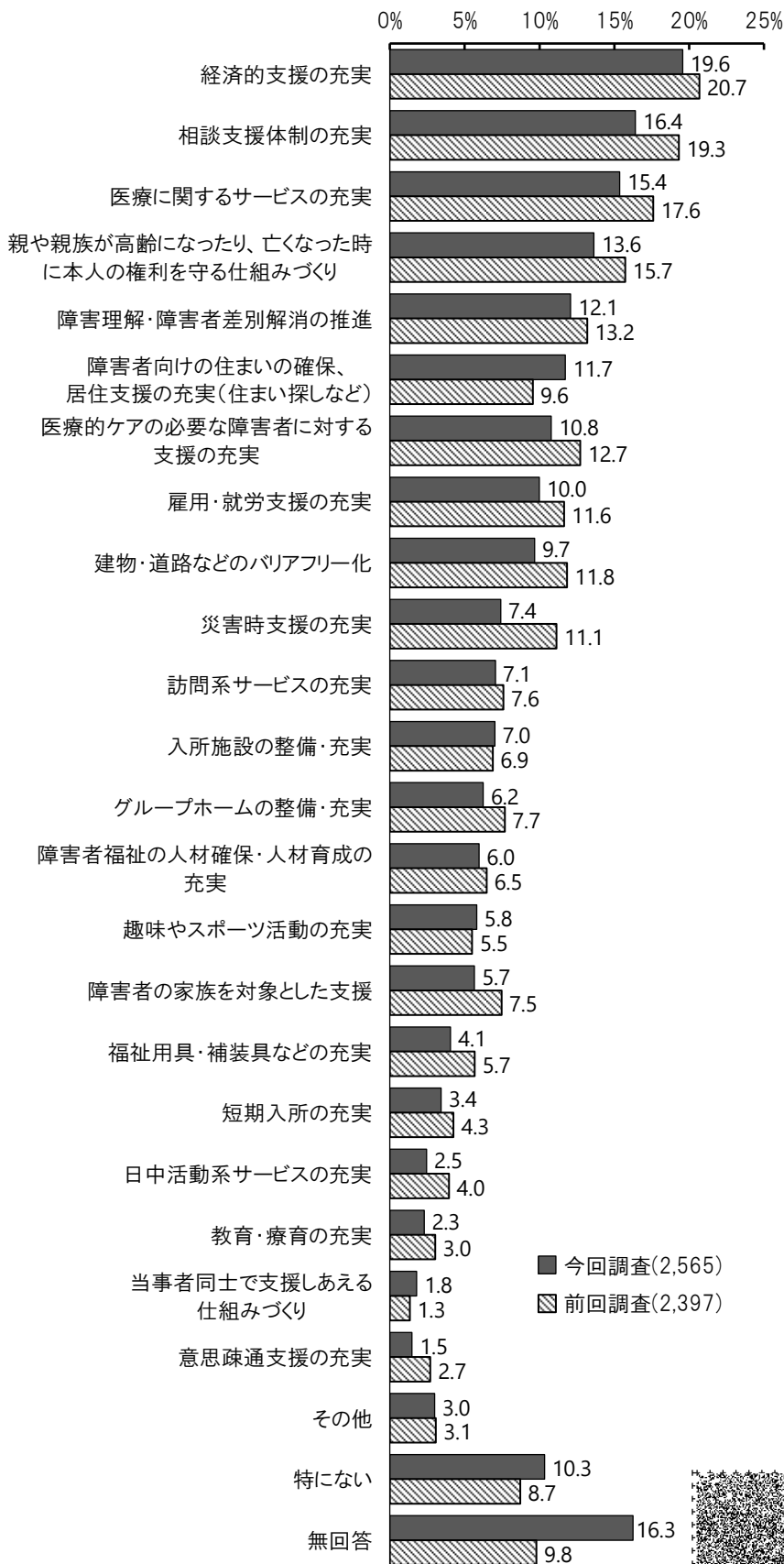


(23)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問42 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「経済的支援の充実」が19.6%

- ・全体では、「経済的支援の充実」が19.6%で最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が16.4%、「医療に関するサービスの充実」が15.4%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、難病・特定疾患は「経済的支援の充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「グループホームの整備・充実」と「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。



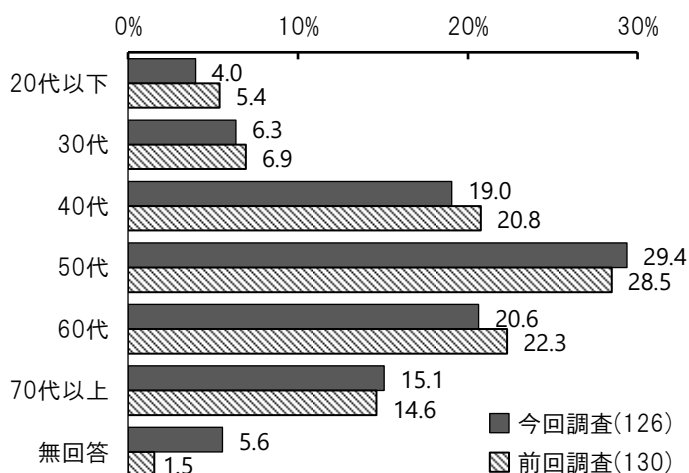
② 施設に入所している方を対象とした調査

(1)年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「50代」が29.4%

- ・全体では、「50代」が29.4%で最も多く、次いで「60代」が20.6%、「40代」が19.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で共に「50代」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「50代」が多くなっています。

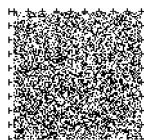
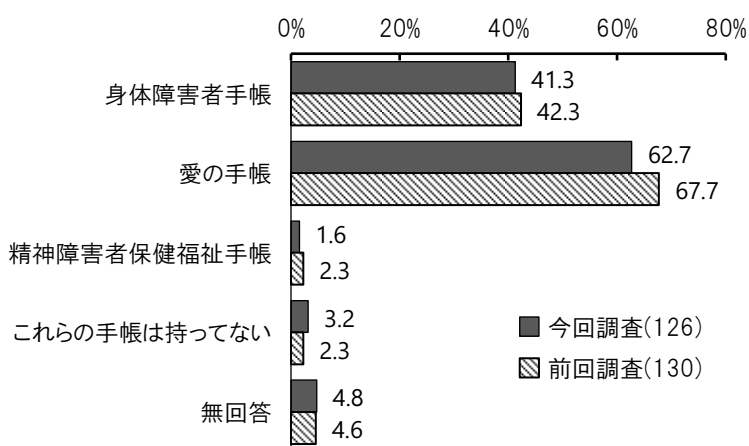


(2)手帳の種類 [複数回答]

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

◆「愛の手帳」が62.7%

- ・全体では、「愛の手帳」が62.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が41.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が1.6%、「これらの手帳は持っていない」が3.2%となっています。
- ・障害別では、身体障害の方のうち、28.8%が愛の手帳を所持しており、知的障害のある方のうち、19.0%が身体障害者手帳を所持しています。
- ・強度行動障害では、「愛の手帳」が8割以上と多くなっています。

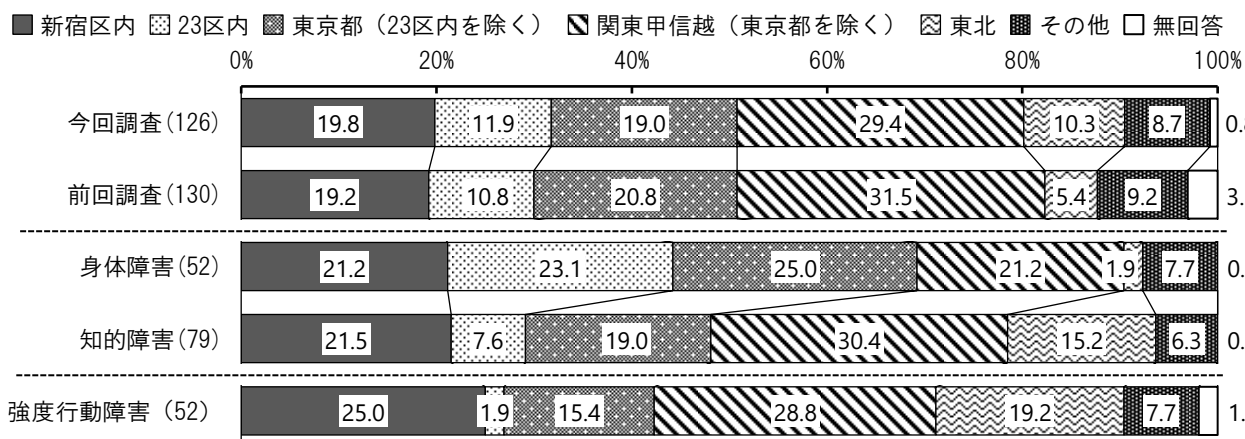


(3)施設のある地域

問6 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きます。(〇はひとつ)

◆「関東甲信越(東京都を除く)」が29.4%

- ・全体では、「関東甲信越(東京都を除く)」が29.4%で最も多く、次いで「新宿区内」が19.8%、「東京都(23区内を除く)」が19.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「東京都(23区内を除く)」、知的障害は「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「関東甲信越(東京都を除く)」が多くなっています。

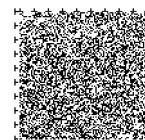
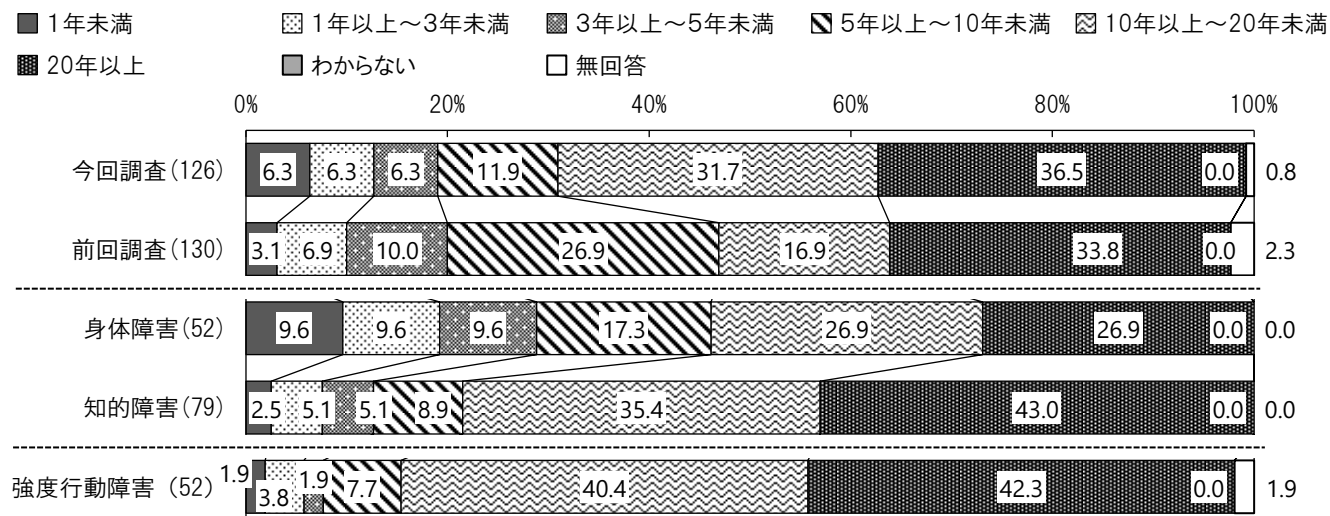


(4)入所期間

問7 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きます。(〇はひとつ)

◆「20年以上」が36.5%

- ・全体では、「20年以上」が36.5%で最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が31.7%、「5年以上～10年未満」が11.9%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害で比較的長期間入所している人が多くなっています。

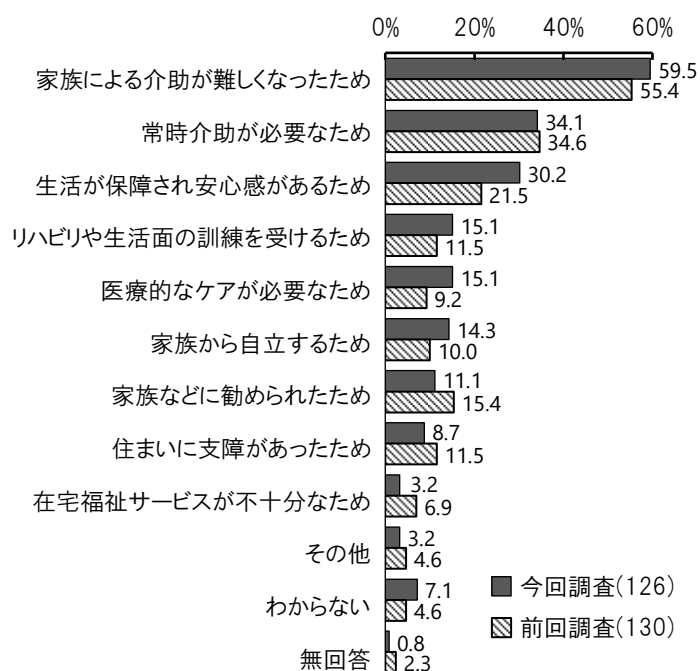


(5)施設に入所した理由 [複数回答]

問8 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

◆「家族による介助が難しくなったため」が59.5%

・「家族による介助が難しくなったため」が59.5%で最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が34.1%、「生活が保障され安心感があるため」が30.2%などとなっています。



(6)施設生活で困っていること [複数回答]

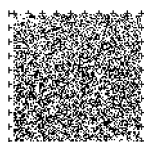
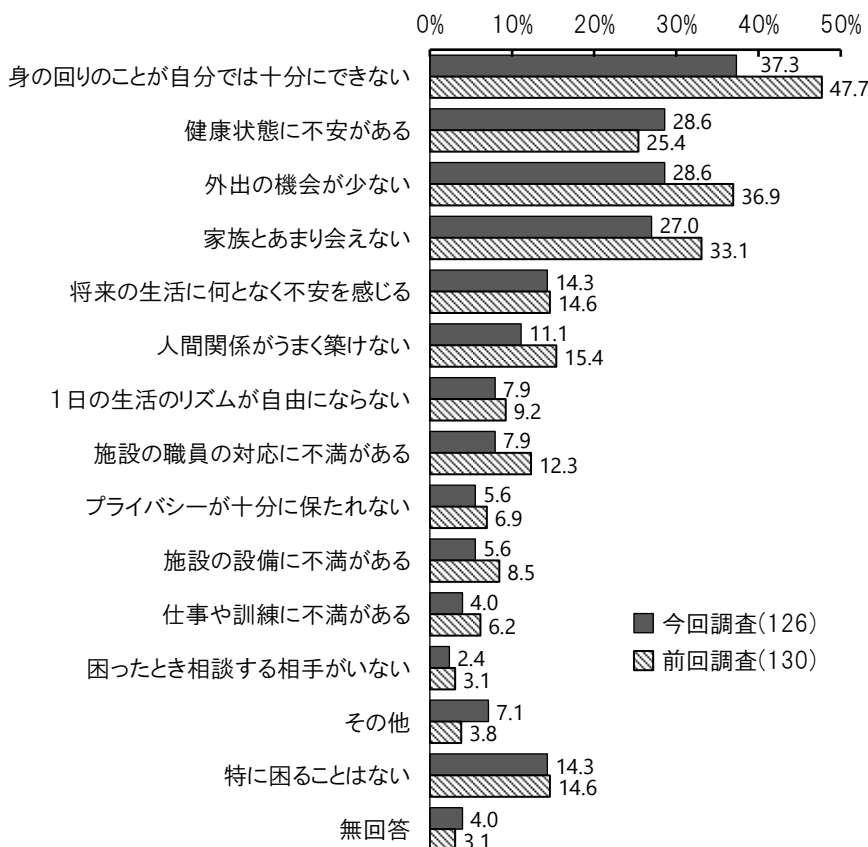
問11 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(○はいくつでも)

◆「身の回りのことが自分では十分にできない」が37.3%

・全体では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が37.3%で最も多く、次いで「健康状態に不安がある」と「外出の機会が少ない」が28.6%、「家族とあまり会えない」が27.0%などとなっています。

・障害別では、身体障害と知的障害で共に「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。

・強度行動障害では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。

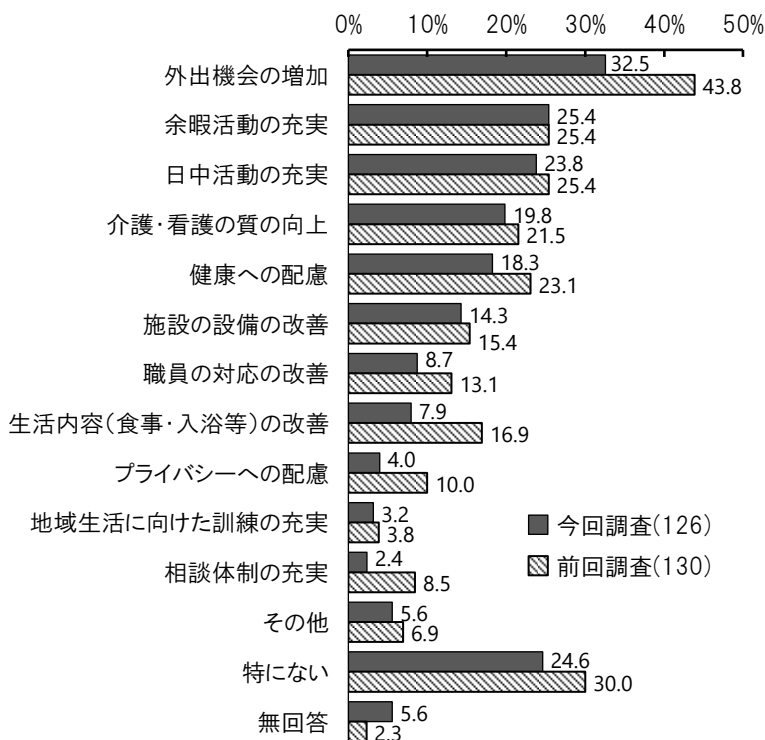


(7)施設への要望 [複数回答]

問12 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

◆「外出機会の増加」が32.5%

- ・全体では、「外出機会の増加」が32.5%で最も多く、次いで「余暇活動の充実」が25.4%、「日中活動の充実」が23.8%などとなっています。「特にない」は24.6%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で共に「外出機会の増加」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「外出機会の増加」と「余暇活動の充実」、「日中活動の充実」、「健康への配慮」が多くなっています。

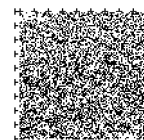
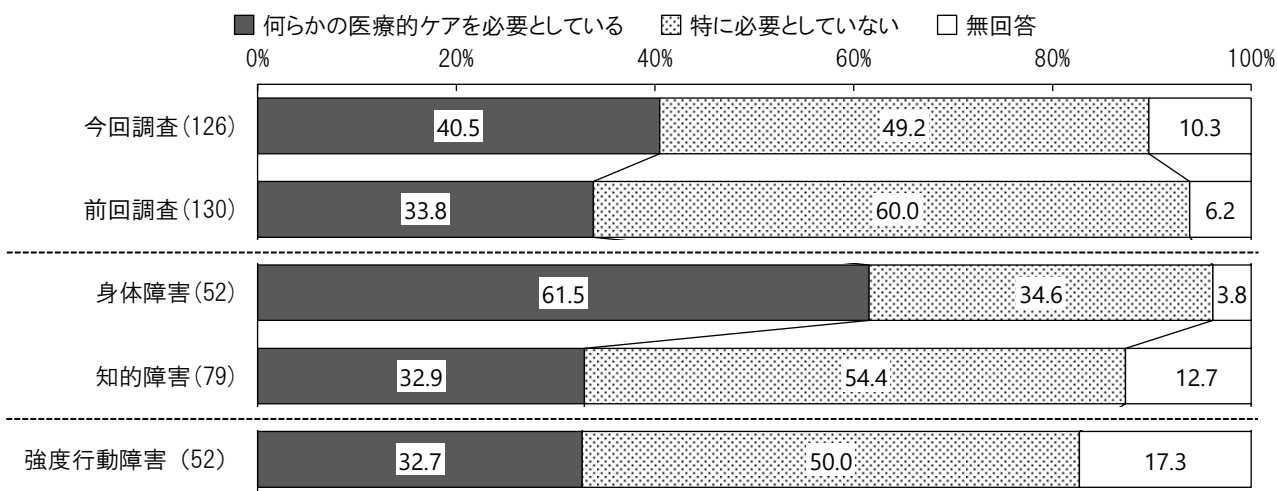


(8)医療的ケアの必要性

問13 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が40.5%

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は40.5%となっています。
- ・障害別では、身体障害で『何らかの医療的ケアを必要としている』が6割以上となっています。

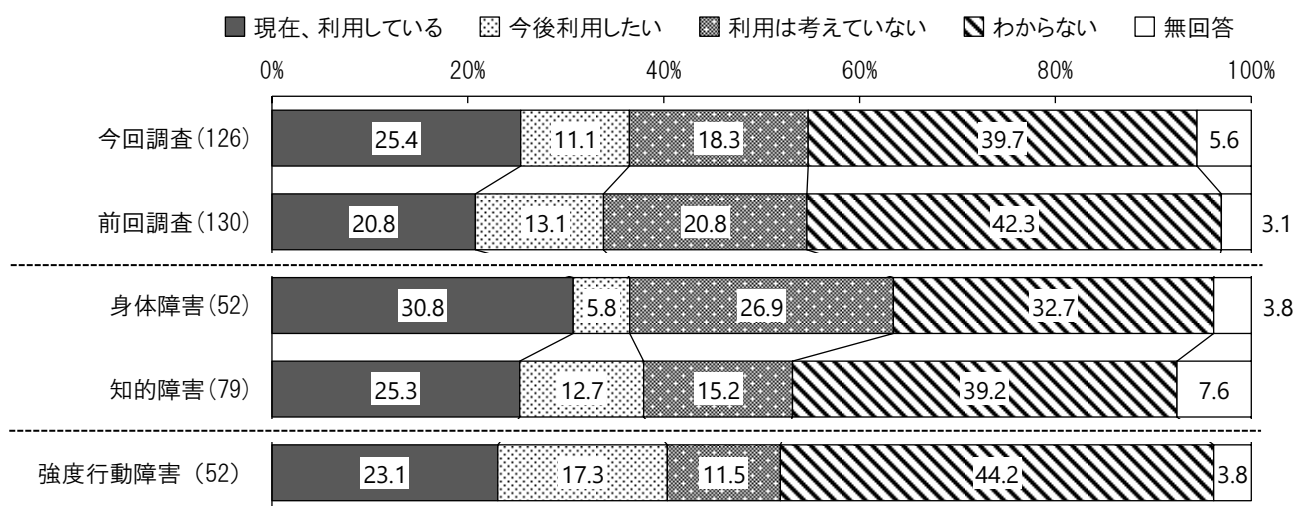


(9) 成年後見制度の利用意向

問19 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

◆「現在、利用している」が25.4%、「今後利用したい」が11.1%

- ・ 全体では、「現在、利用している」が25.4%、「今後利用したい」が11.1%、「利用は考えていない」が18.3%、「わからない」は39.7%となっています。
- ・ 障害別では、身体障害は「現在、利用している」が3割以上となっています。



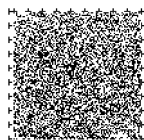
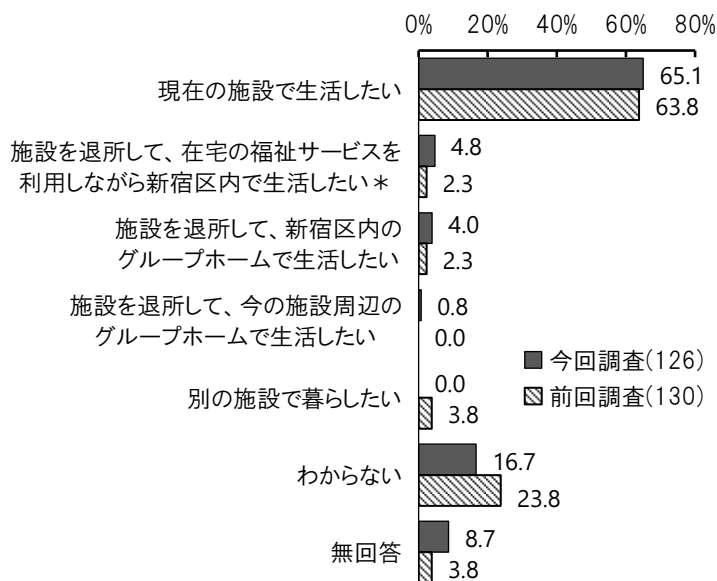
(10) 今後の生活の希望

問21 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

◆「現在の施設で生活したい」が65.1%

- ・ 「現在の施設で生活したい」が65.1%で最も多く、次いで「施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい」が4.8%、「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」が4.0%となっています。「わからない」は16.7%となっています。

* 前回調査では、選択肢「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」

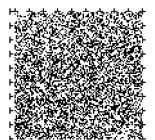
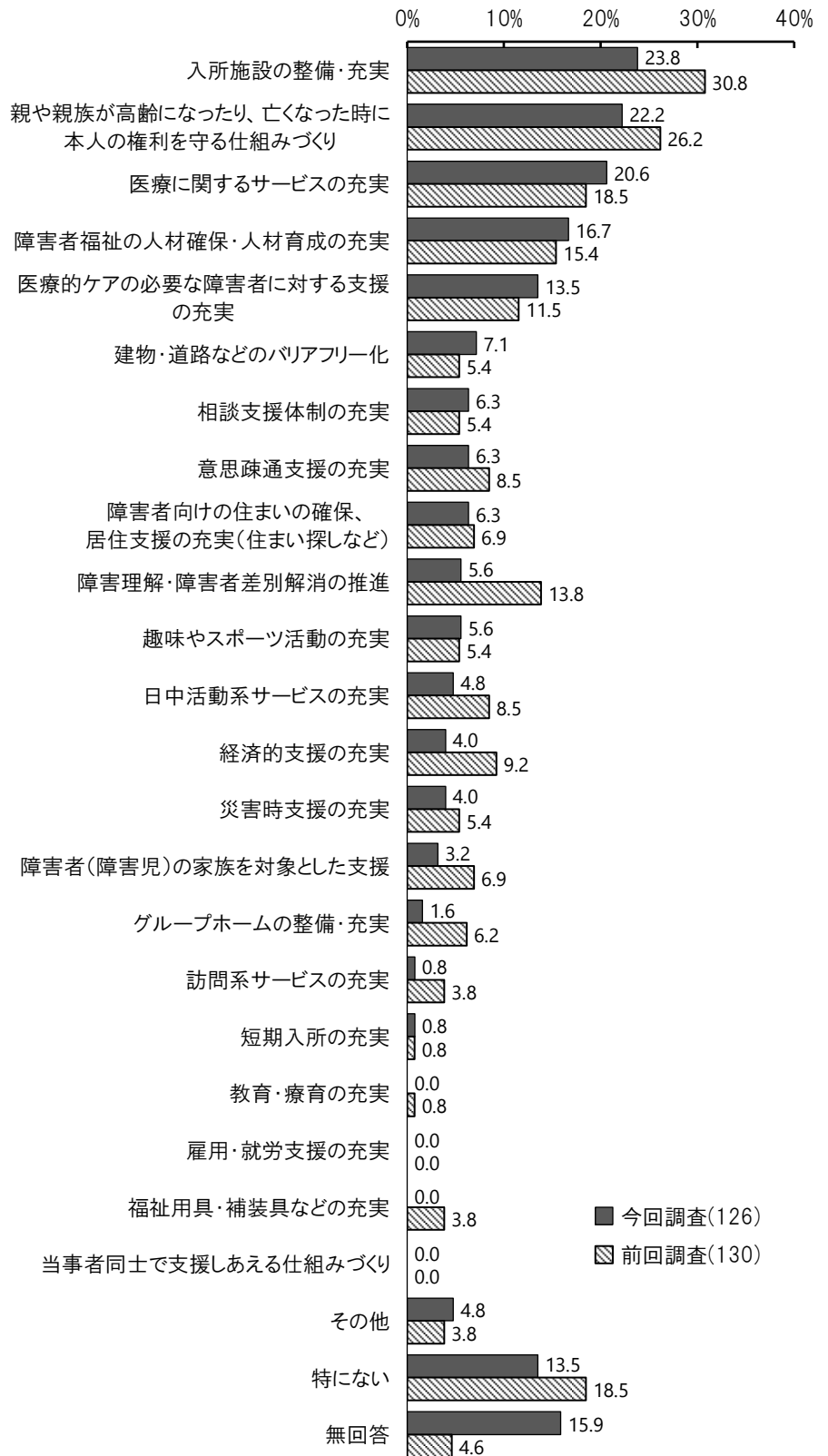


(11)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問22 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「入所施設の整備・充実」が23.8%

- ・全体では、「入所施設の整備・充実」が23.8%で最も多く、次いで「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が22.2%、「医療に関するサービスの充実」が20.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「入所施設の整備・充実」、知的障害は「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。
- ・強度行動障害では、「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。



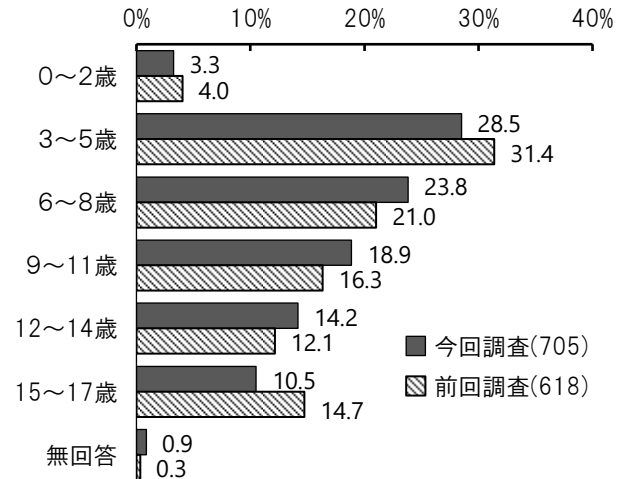
③ 児童(18歳未満)の保護者の方を対象とした調査

(1)年齢

問3 お子さんの年齢をお聞きします。令和7年11月1日現在の満年齢をお書きください。

◆「3～5歳」が28.5%

- ・全体では、「3～5歳」が28.5%で最も多く、次いで「6～8歳」が23.8%、「9～11歳」が18.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「9～11歳」と「12～14歳」、知的障害は「12～14歳」、精神障害と発達障害は「9～11歳」、手帳・診断なしは「3～5歳」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「3～5歳」と「9～11歳」が多くなっています。

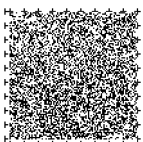
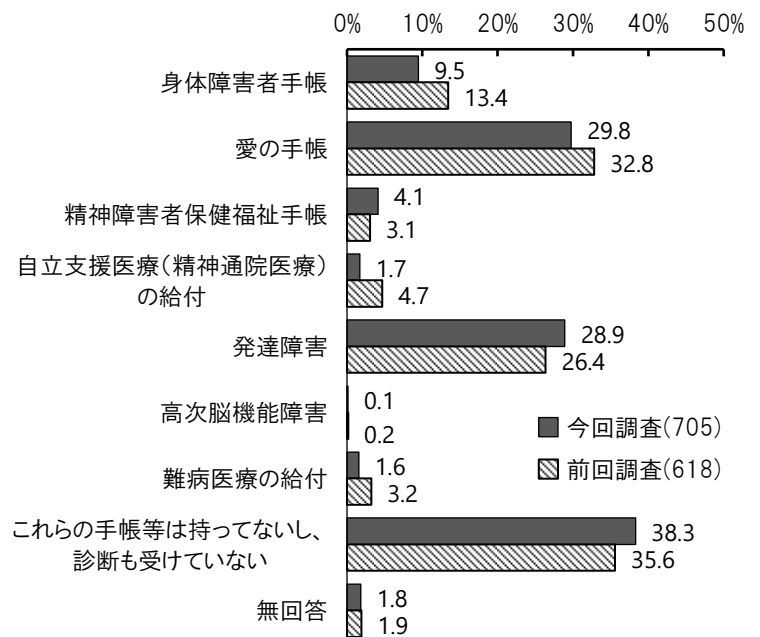


(2)手帳や医療券の種類 [複数回答]

問5 お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度も○をつけてください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

◆「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が38.3%

- ・全体では、「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が38.3%で最も多く、次いで「愛の手帳」が29.8%、「発達障害」が28.9%、「身体障害者手帳」が9.5%などとなっています。
- ・身体障害のある方のうち、28.4%が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、43.5%が身体障害者手帳、同じく43.5%が愛の手帳を所持しています。

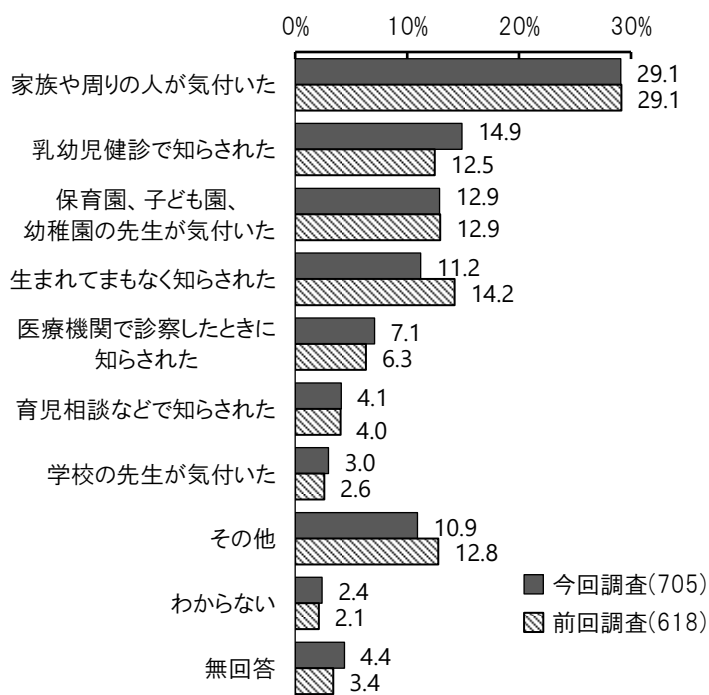


(3)障害等に気付いたきっかけ

問8 お子さんの障害や心身の不調・特性について、初めてわかったのは、どのようなときでしたか。(〇はひとつ)

◆「家族や周りの人が気付いた」が29.1%

- ・全体では、「家族や周りの人が気付いた」が29.1%で最も多く、次いで「乳幼児健診で知らされた」が14.9%、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気付いた」が12.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「生まれてまもなく知らされた」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「家族や周りの人が気付いた」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

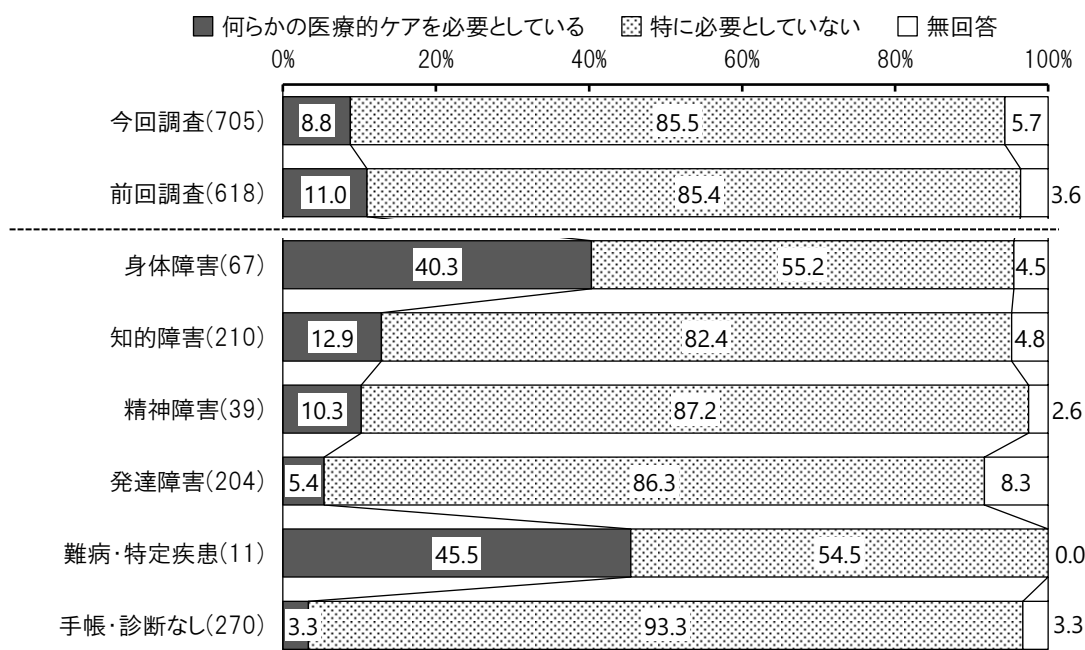


(4)医療的ケアの必要性

問9 お子さんは日常的に必要な医療的ケアがありますか。

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が8.8%

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は8.8%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

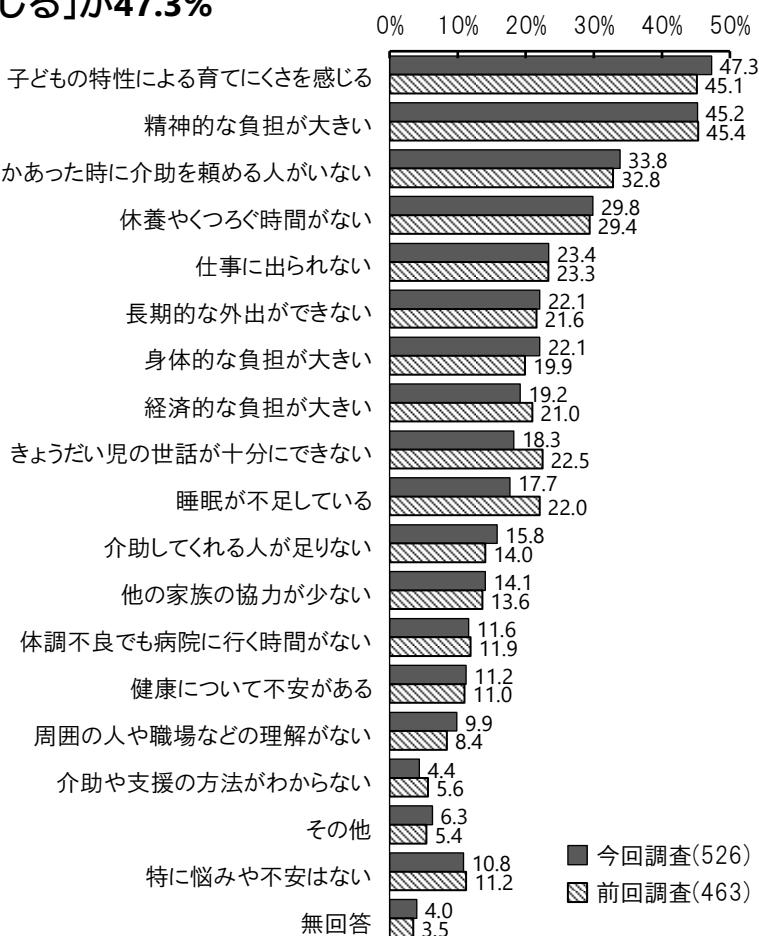


(5) 介助や支援についての悩み [複数回答]

問13 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

◆「子どもの特性による育てにくさを感じる」が47.3%

- ・全体では、「子どもの特性による育てにくさを感じる」が47.3%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が45.2%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が33.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害は「精神的な負担が大きい」、精神障害と手帳・診断なしは「子どもの特性による育てにくさを感じる」、発達障害は「精神的な負担が大きい」と「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が多くなっています。
- ・「きょうだい児の世話が十分にできない」は、身体障害(25.4%)と医療的ケア児(31.0%)で多くなっています。

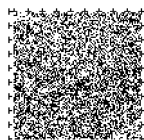
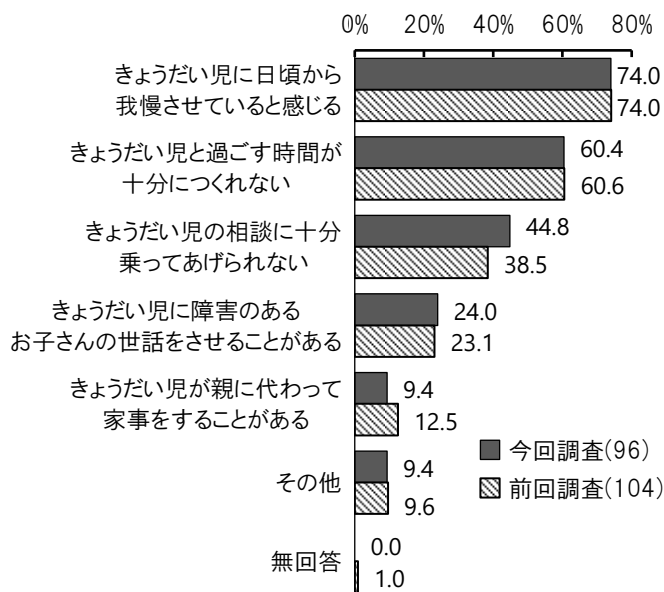


(6) きょうだい児に関する悩み [複数回答]

問14 問13で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きします。具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

◆「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%

- ・全体では、「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.4%、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が44.8%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害と発達障害で「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」、手帳・診断なしは「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」と「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が多くなっています。

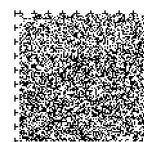
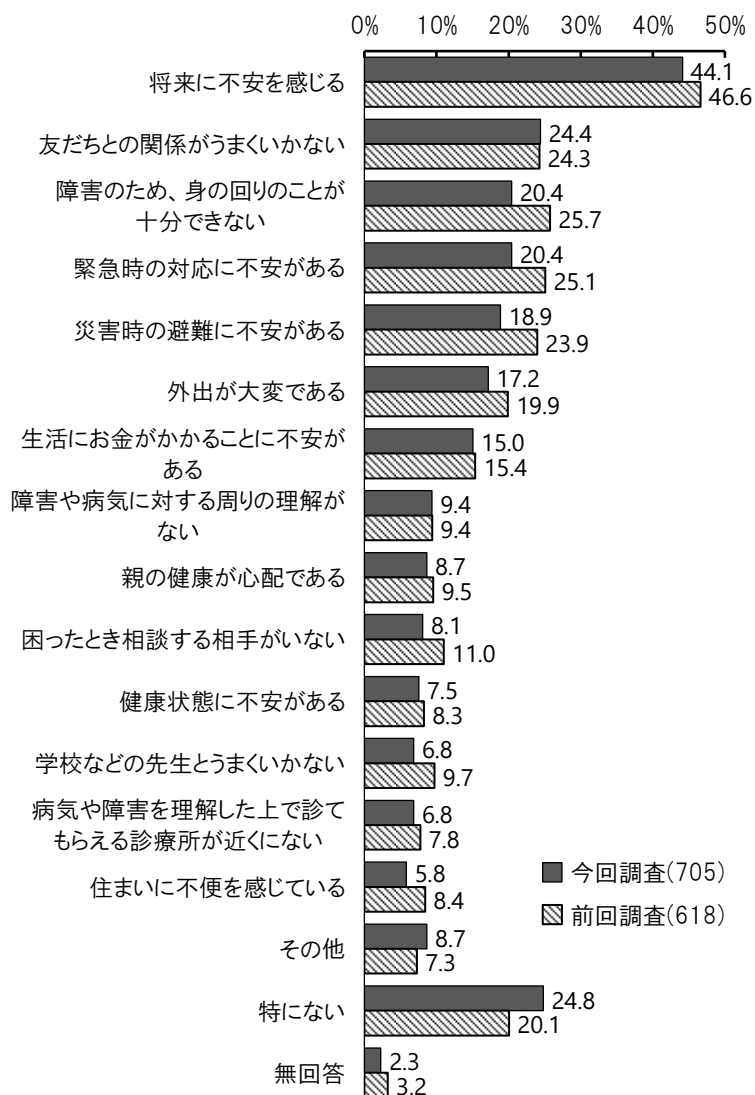


(7)日常生活で困っていること(お子さんが困っていること) [複数回答]

問15 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)
(お子さんの思いをご回答ください)

◆「将来に不安を感じる」が44.1%

- ・全体では、「将来に不安を感じる」が44.1%で最も多く、次いで「友だちとの関係がうまくいかない」が24.4%、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「緊急時の対応に不安がある」が20.4%などとなっています。「特にない」は24.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害は「障害のため、身の回りのことが十分できない」、知的障害と精神障害、発達障害、手帳・診断なしは「将来に不安を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「障害のため、身の回りのことが十分できない」と「将来に不安を感じる」が多くなっています。

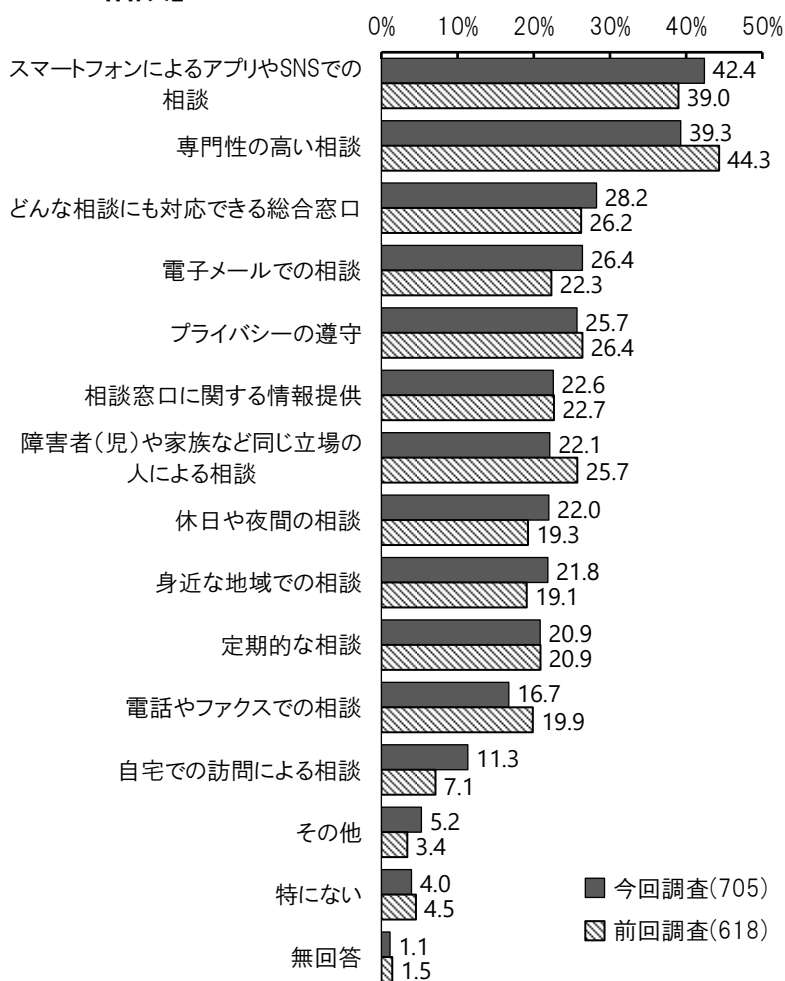


(8)気軽に相談するために必要なこと [複数回答]

問17 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が42.4%

- ・全体では、「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が42.4%で最も多く、次いで「専門性の高い相談」が39.3%、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が28.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、発達障害は「専門性の高い相談」、知的障害と手帳・診断なしは「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

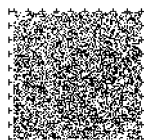
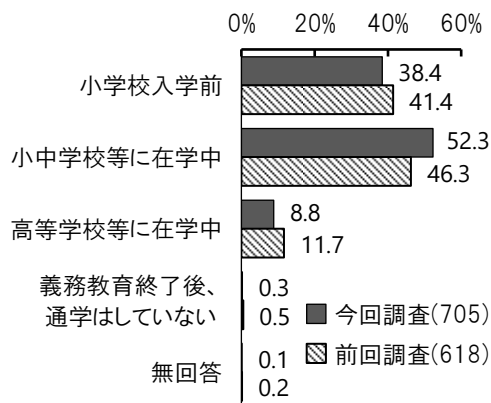


(9)通園・通学先

問19 お子さんが通園・通学などを行っているところをお聞きします。

◆「小中学校等に在学中」が52.3%

- ・全体では、「小中学校等に在学中」が52.3%で最も多く、次いで「小学校入学前」が38.4%、「高等学校等に在学中」が8.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「小中学校等に在学中」、手帳・診断なしは「小学校入学前」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「小中学校等に在学中」が多くなっています。

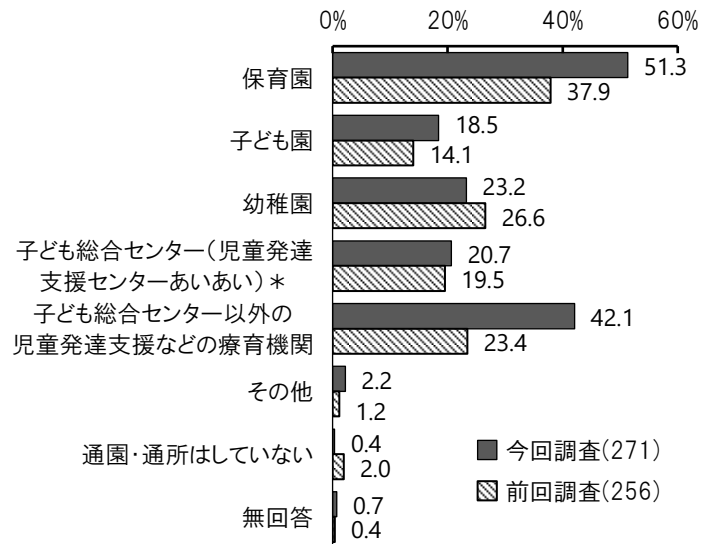


【小学校入学前】 [複数回答]

◆「保育園」が51.3%

・「保育園」が51.3%で最も多く、次いで「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が42.1%、「幼稚園」が23.2%などとなっています。

* 前回調査では、選択肢「子ども総合センター(児童発達コーナーあいあい)」



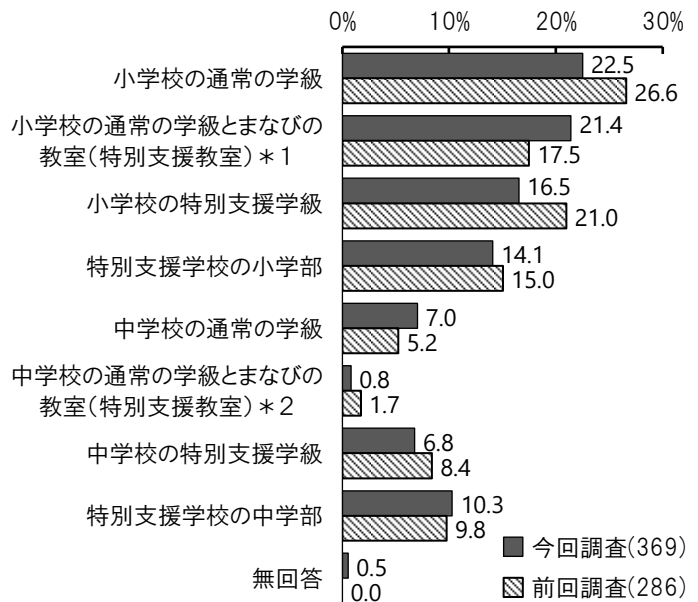
【小中学校等に在学中】

◆「小学校の通常の学級」が22.5%

・全体では、「小学校の通常の学級」が22.5%で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)」が21.4%、「小学校の特別支援学級」が16.5%などとなっています。

・障害別では、身体障害と知的障害は「特別支援学校の小学部」、精神障害と手帳・診断なしは「小学校の通常の学級とまなびの教室(特別支援教室)」、発達障害は「小学校の通常の学級」が多くなっています。

・医療的ケア児では、「特別支援学校の小学部」が多くなっています。



※ 前回調査は複数回答

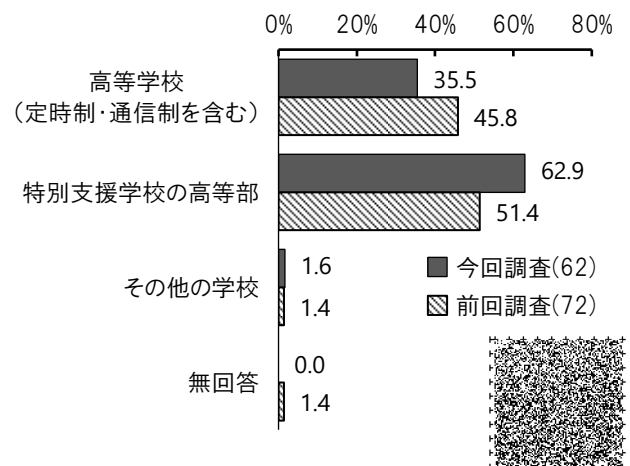
*1前回調査では、選択肢「小学校のまなびの教室(特別支援教室)」

*2前回調査では、選択肢「中学校のまなびの教室(特別支援教室)」

【高等学校等に在学中】

◆「特別支援学校の高等部」が62.9%

・「特別支援学校の高等部」が62.9%で最も多く、次いで「高等学校(定時制・通信制を含む)」が35.5%、「その他の学校」が1.6%となっています。

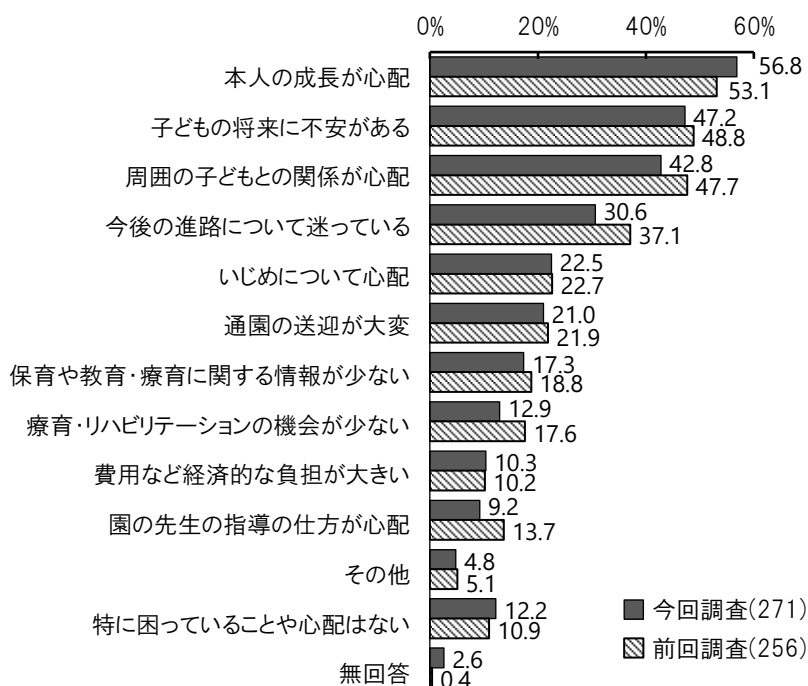


(10)通園生活等で困っていること(小学校入学前) [複数回答]

問20 「小学校入学前」と回答した方にお聞きします。通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)

◆「本人の成長が心配」が56.8%

- ・全体では、「本人の成長が心配」が56.8%で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が47.2%、「周囲の子どもとの関係が心配」が42.8%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害は「本人の成長が心配」と「子どもの将来に不安がある」、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「本人の成長が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「本人の成長が心配」が多くなっています。

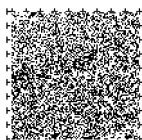
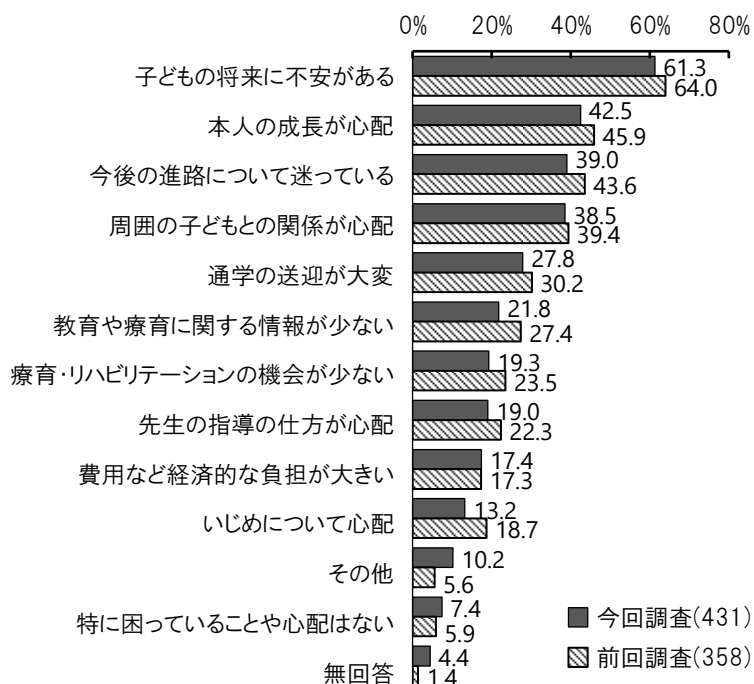


(11)通学生活等で困っていること(小中学校等又は高等学校等に在学中) [複数回答]

問22 「小中学校等に在学中」又は「高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)

◆「子どもの将来に不安がある」が61.3%

- ・全体では、「子どもの将来に不安がある」が61.3%で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が42.5%、「今後の進路について迷っている」が39.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害は「子どもの将来に不安がある」、手帳・診断なしは「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「子どもの将来に不安がある」が多くなっています。

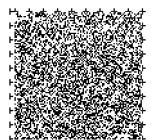
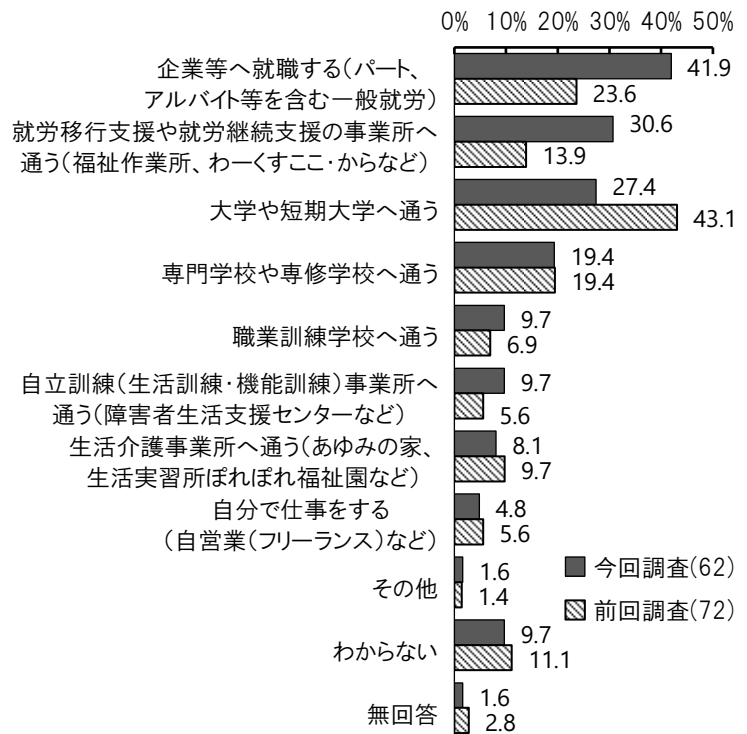


(12)高等学校(高等部)卒業後の進路(お子さんの希望) [複数回答]

問26 「高等学校等に在学中」の方にお聞きします。高等学校(高等部)卒業後の日中の過ごし方は、どのようにしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が41.9%

- ・全体では、「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が41.9%で最も多く、次いで「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う(福祉作業所、わーくすここ・からなど)」が30.6%、「大学や短期大学へ通う」が27.4%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害と発達障害は「企業等へ就職する(パート、アルバイト等を含む一般就労)」が多くなっています。

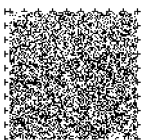
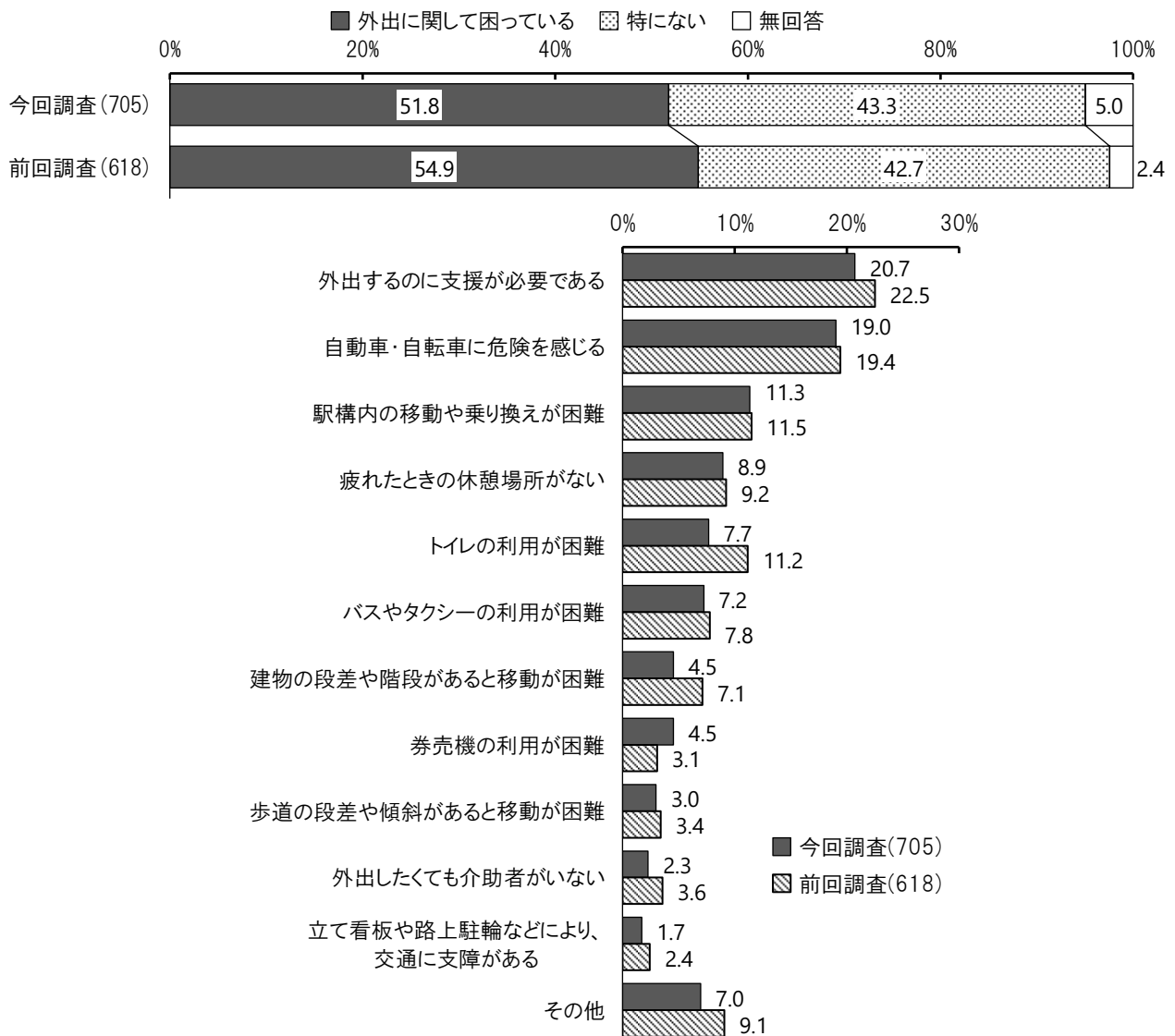


(13)外出に関して困っていること [複数回答]

問28 お子さんは、外出(通園・通学以外)に関してどのようなことで困っていますか。
(○は3つまで)

◆『外出に関して困っている』方は**51.8%**、
「外出するのに支援が必要である」が**20.7%**

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『外出に関して困っている』方は51.8%となっています。
- ・全体では、「外出するのに支援が必要である」が20.7%で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が19.0%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が11.3%などとなっています。「特にない」は43.3%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、発達障害は「外出するのに支援が必要である」、精神障害と手帳・診断なしは「自動車・自転車に危険を感じる」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

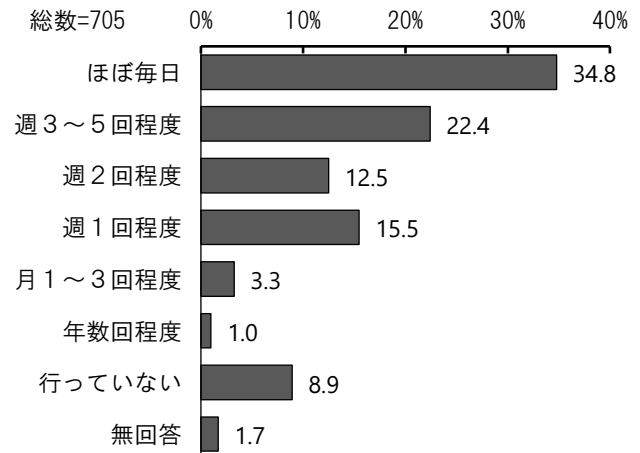


(14)スポーツや運動をする頻度

問29 お子さんが、スポーツや運動(気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わない階段移動、体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの等を含む。)をする頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

◆「ほぼ毎日」が34.8%

- ・全体では、「ほぼ毎日」が34.8%で最も多く、次いで「週3～5回程度」が22.4%、「週1回程度」が15.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害は「行っていない」、知的障害と発達障害、手帳・診断なしは「ほぼ毎日」、精神障害は「週3～5回程度」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「行っていない」が多くなっています。



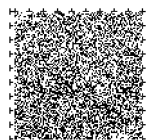
(15)障害福祉サービス等の利用状況、利用意向

問30 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いませんか。

◆『サービスの需要』は、「放課後等デイサービス」が61.7%

- ・「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「放課後等デイサービス」が61.7%、「児童発達支援」が44.0%、「移動支援事業」が22.1%などとなっています。

	障害児通所支援等	現在利用している(a)	2～3年以内に利用したい(b)	サービスの需要(a+b)
1	放課後等デイサービス	42.3%	19.4%	61.7%
2	児童発達支援	39.9%	4.1%	44.0%
3	移動支援事業	13.0%	9.1%	22.1%
4	日中一時支援事業(障害児等タイムケア)	4.7%	12.5%	17.2%
5	短期入所(ショートステイ)	2.6%	11.2%	13.8%
6	相談支援事業	5.1%	8.5%	13.6%
7	保育所等訪問支援	5.2%	5.1%	10.4%
8	日中一時支援事業(日中ショート)	1.7%	8.4%	10.1%
9	タクシー利用券	8.4%	1.3%	9.6%
10	補装具費の支給等	8.5%	1.0%	9.5%



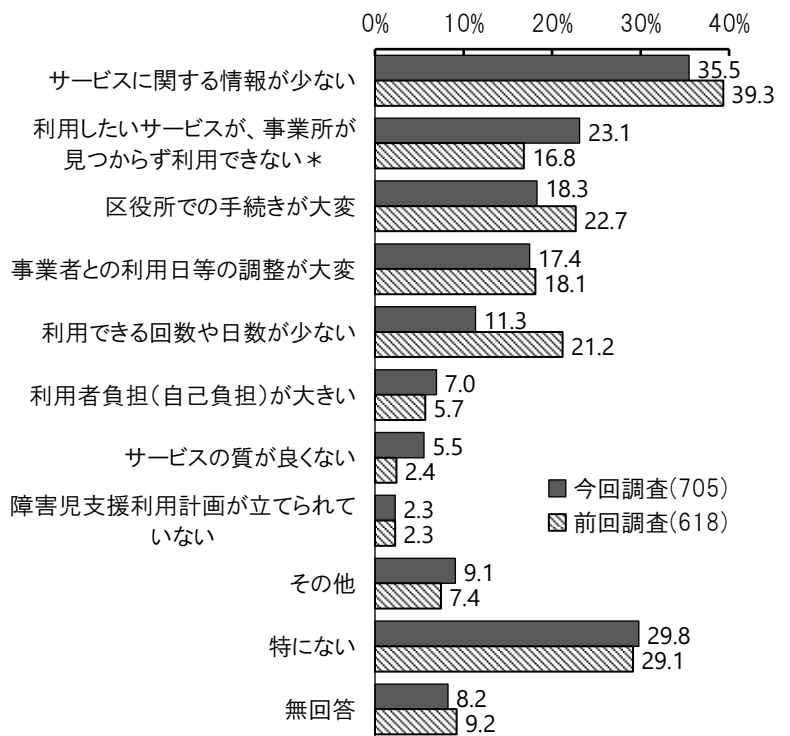
(16) サービス利用に関して困っていること [複数回答]

問31 お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

◆「サービスに関する情報が少ない」が35.5%

- ・全体では、「サービスに関する情報が少ない」が35.5%で最も多く、次いで「利用したいサービスが、事業所が見つからず利用できない」が23.1%、「区役所での手続きが大変」が18.3%などとなっています。「特にない」は29.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。

* 前回調査では、選択肢「利用したいサービスが利用できない」

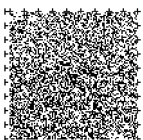
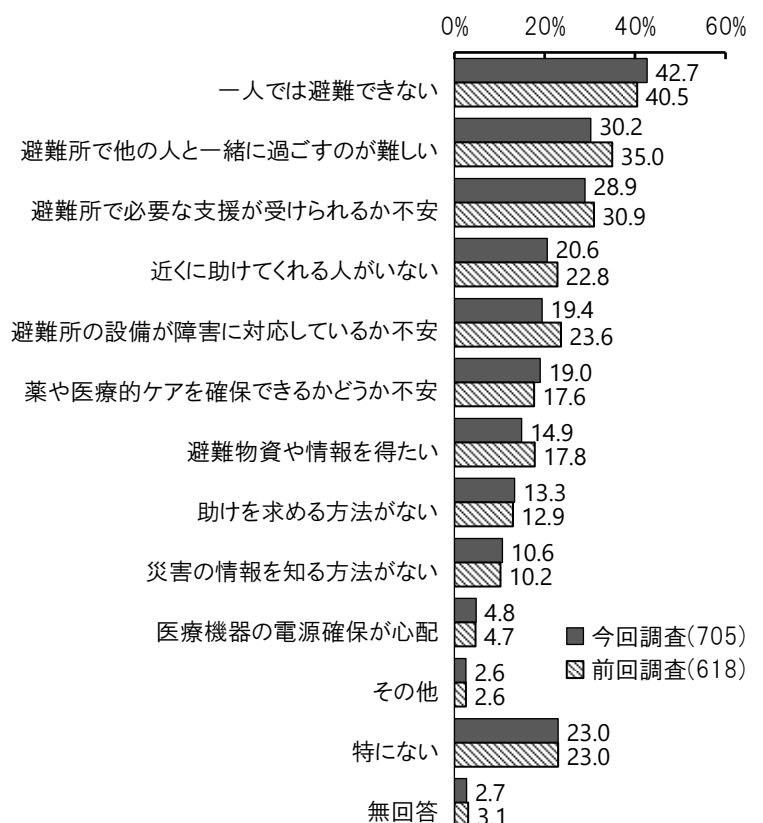


(17) 災害が発生したときに困ること [複数回答]

問34 お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

◆「一人では避難できない」が42.7%

- ・全体では、「一人では避難できない」が42.7%で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が30.2%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が28.9%などとなっています。「特にない」は23.0%となっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害、発達障害、手帳・診断なしは「一人では避難できない」、精神障害は「近くに助けしてくれる人がいない」と「一人では避難できない」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「一人では避難できない」が多くなっています。

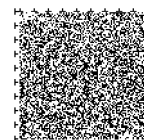
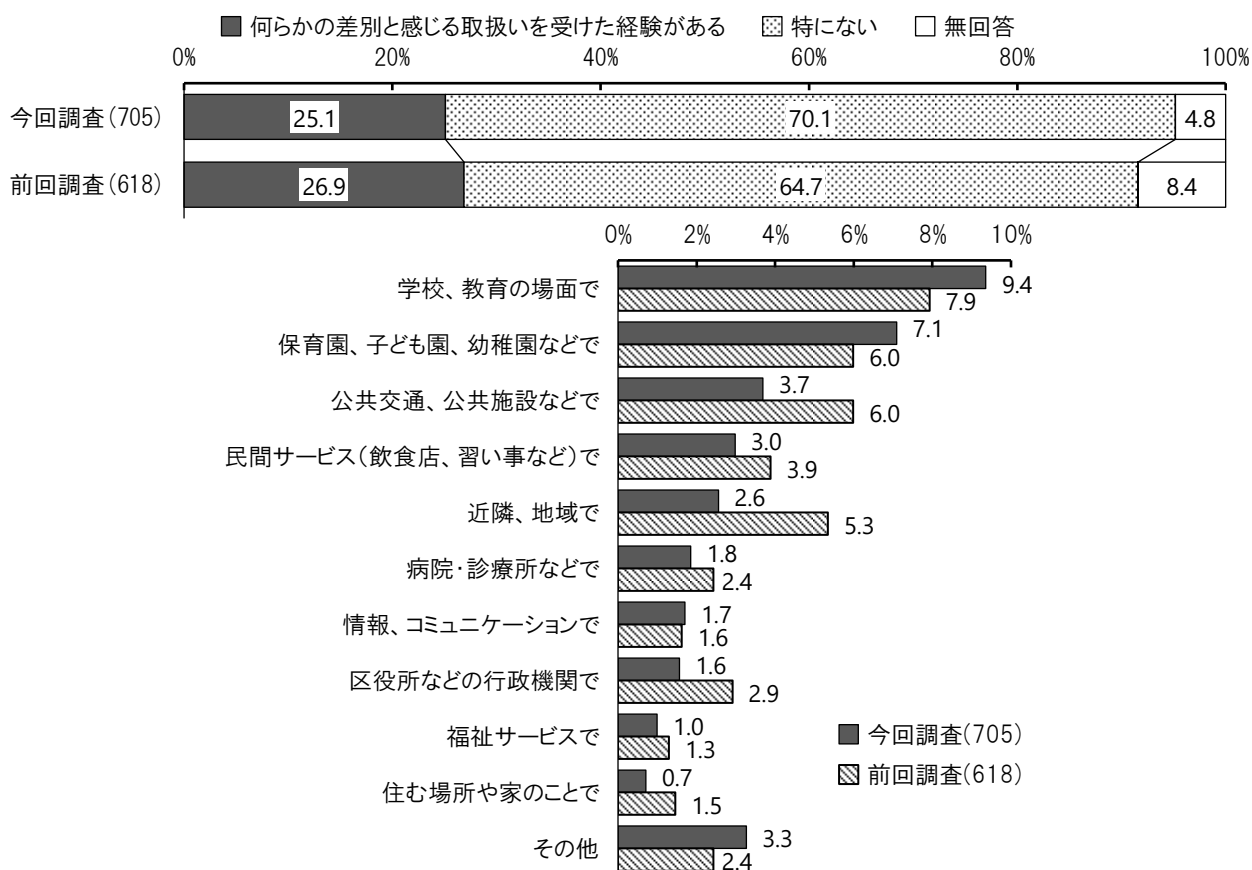


(18)差別と感ずる取扱いを受けた経験 [複数回答]

問36 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

◆『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は25.1%、
「学校、教育の場面で」が9.4%

- ・全体では、回答者全体から「特にない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの差別と感ずる取扱いを受けた経験がある』方は25.1%となっています。
- ・全体では、「学校、教育の場面で」が9.4%で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が7.1%、「公共交通、公共施設などで」が3.7%などとなっています。「特にない」は70.1%となっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害、発達障害は「学校、教育の場面で」、知的障害は「公共交通、公共施設などで」、手帳・診断なしは「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「保育園、子ども園、幼稚園などで」が多くなっています。

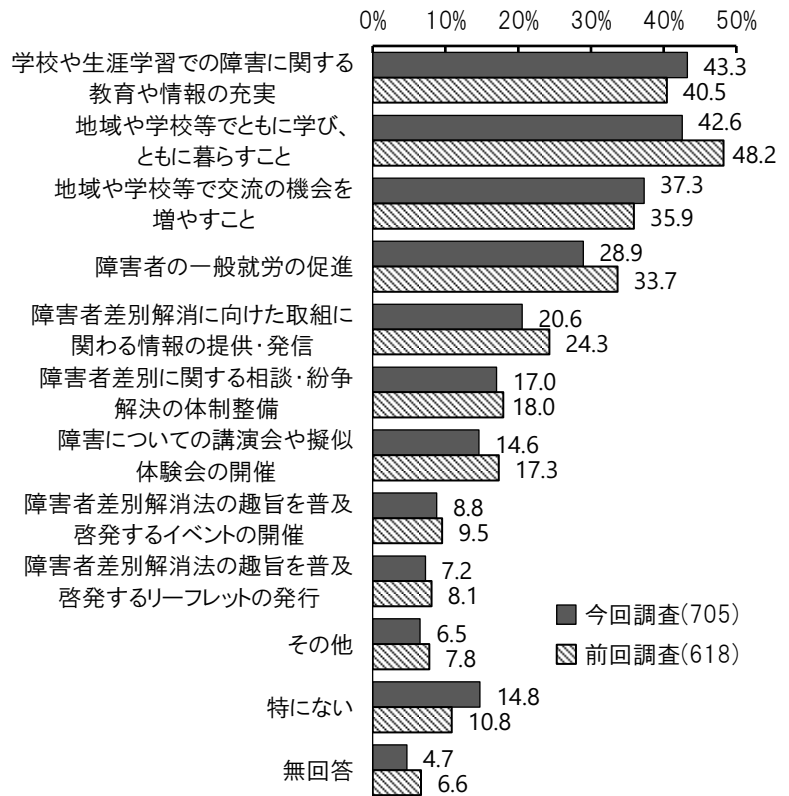


(19)障害者差別の解消のために力を入れるべきこと [複数回答]

問38 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

◆「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が43.3%

・「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が43.3%で最も多く、次いで「地域や学校等とともに学び、ともに暮らすこと」が42.6%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が37.3%などとなっています。



(20)将来の生活の希望

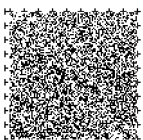
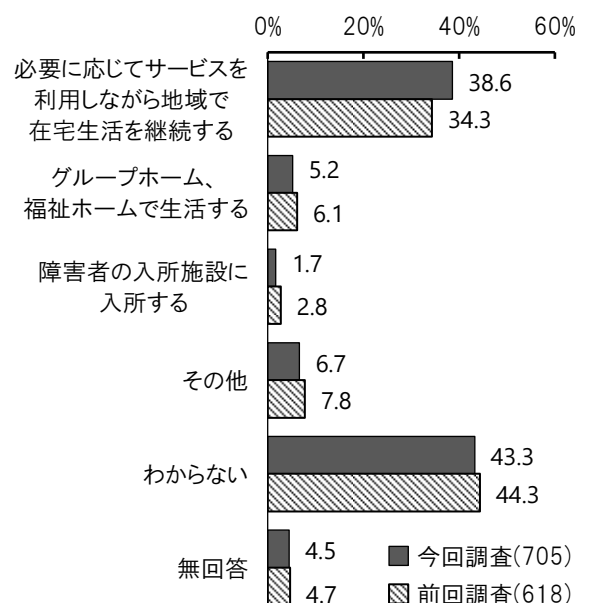
問41 お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。(〇はひとつ)

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が38.6%

・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が38.6%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が5.2%、「障害者の入所施設に入所する」が1.7%となっています。「わからない」は43.3%となっています。

・障害別では、身体障害と知的障害、精神障害、発達障害、手帳・診断なしで共に「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。

・医療的ケア児では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多くなっています。

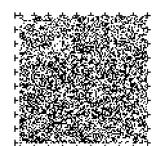
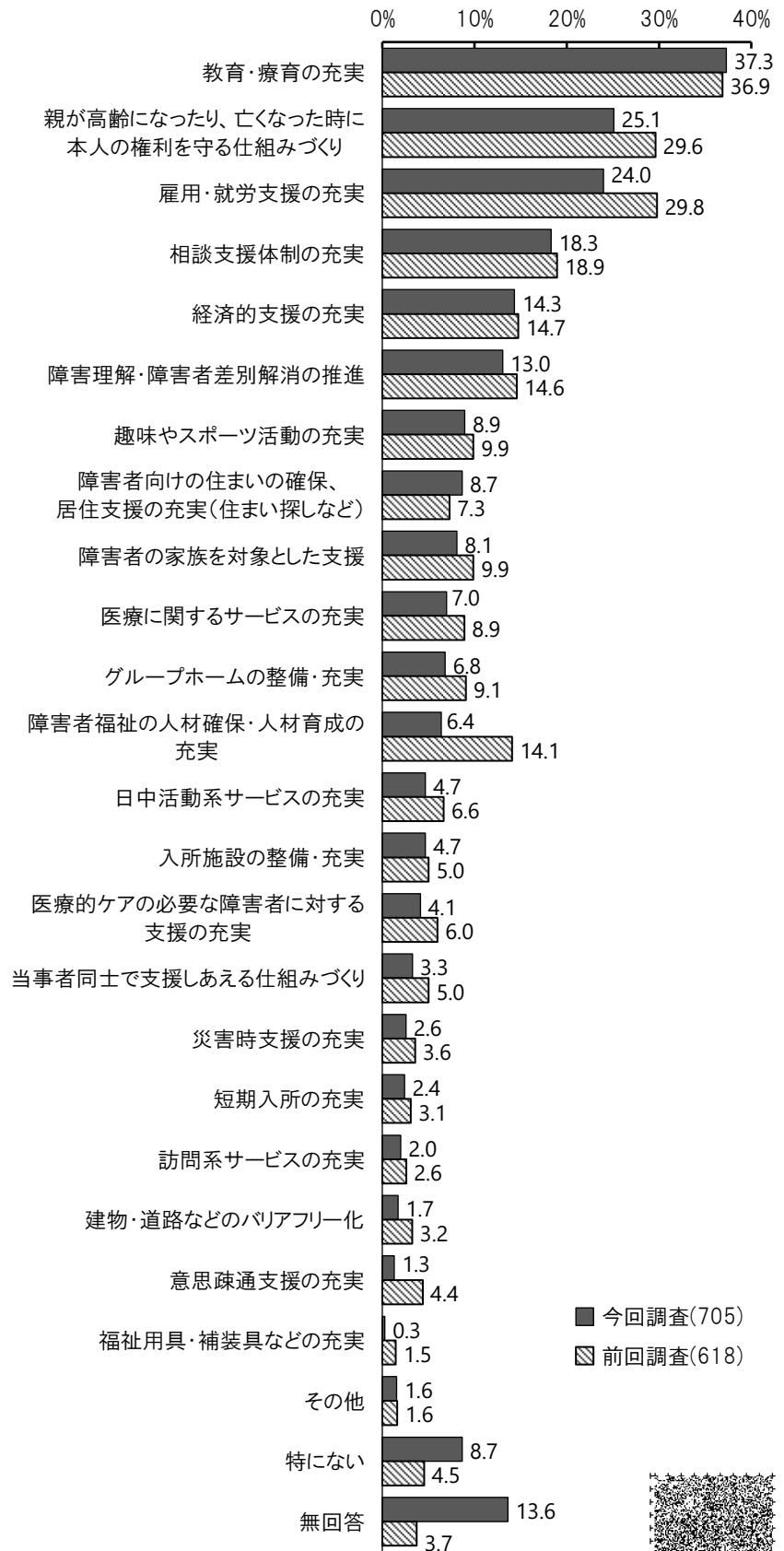


(21)地域で安心して暮らすために重要な施策 [複数回答]

問42 お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「教育・療育の充実」が37.3%

- ・全体では、「教育・療育の充実」が37.3%で最も多く、次いで「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が25.1%、「雇用・就労支援の充実」が24.0%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害は「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害は「雇用・就労支援の充実」、発達障害と手帳・診断なしは「教育・療育の充実」が多くなっています。
- ・医療的ケア児では、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。



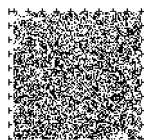
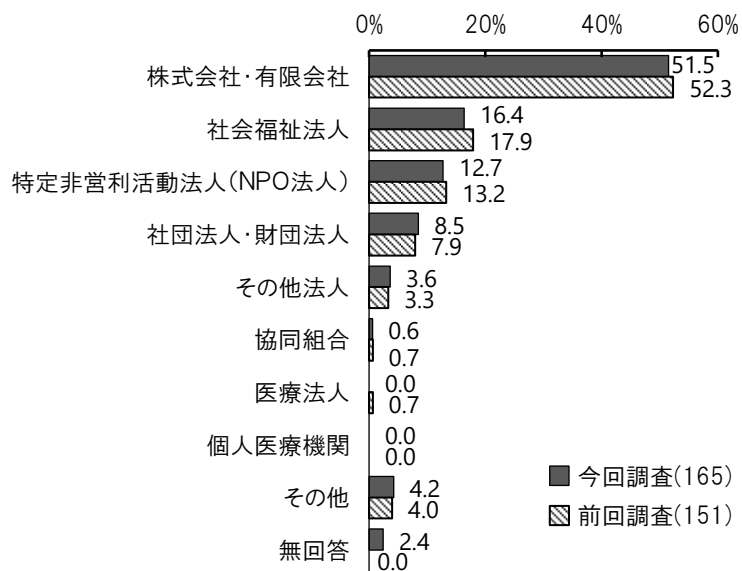
④ サービス事業者を対象とした調査

(1) 経営主体

問1 貴事業所の経営主体をお聞きます。(○はひとつ)

◆「株式会社・有限会社」が51.5%

・「株式会社・有限会社」が51.5%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が16.4%、「特定非営利活動法人(NPO法人)」が12.7%などとなっています。

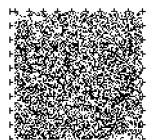
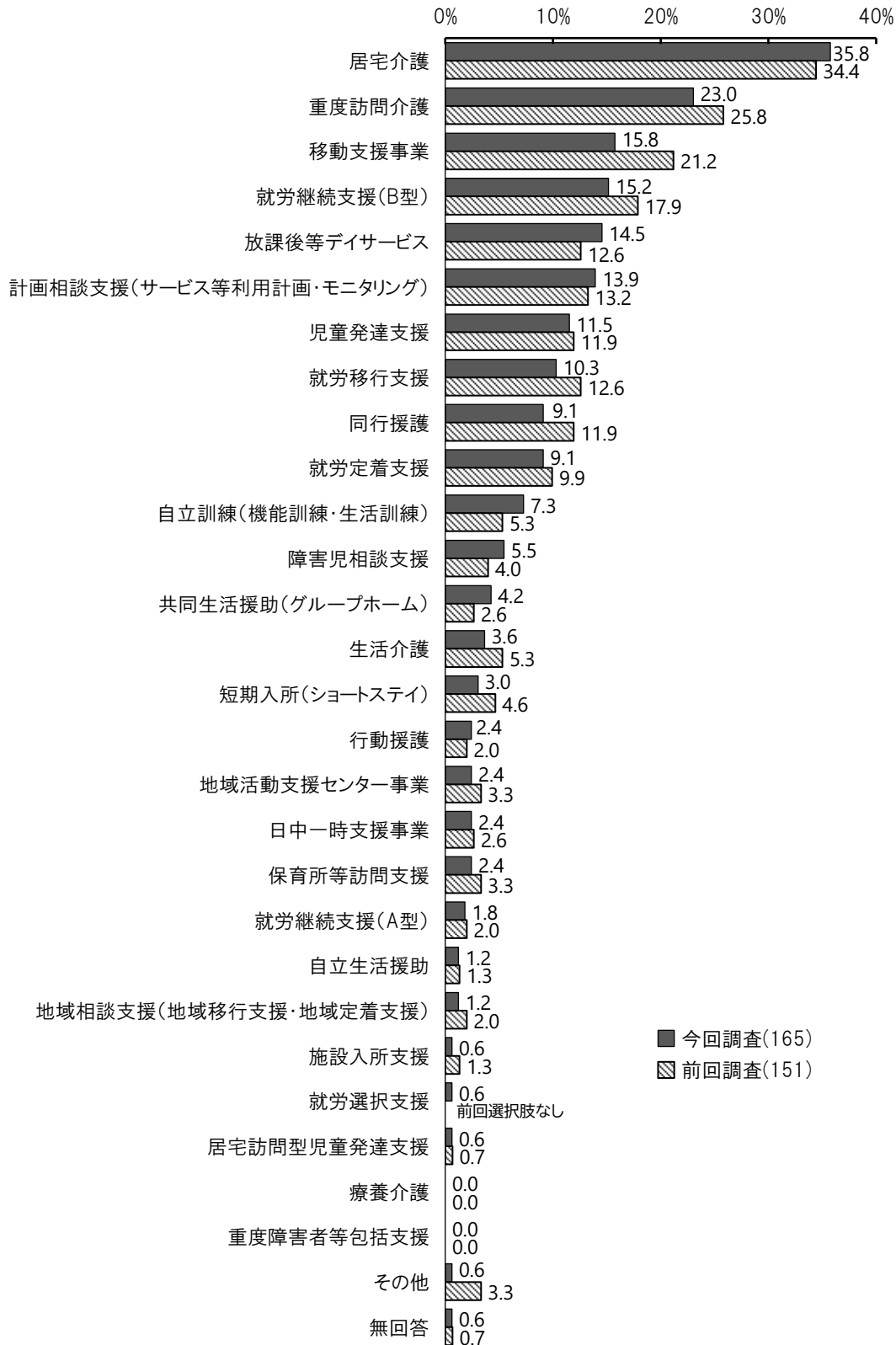


(2)提供しているサービス [複数回答]

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きします。(〇はいくつでも)

◆「居宅介護」が35.8%

・「居宅介護」が35.8%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が23.0%、「移動支援事業」が15.8%などとなっています。

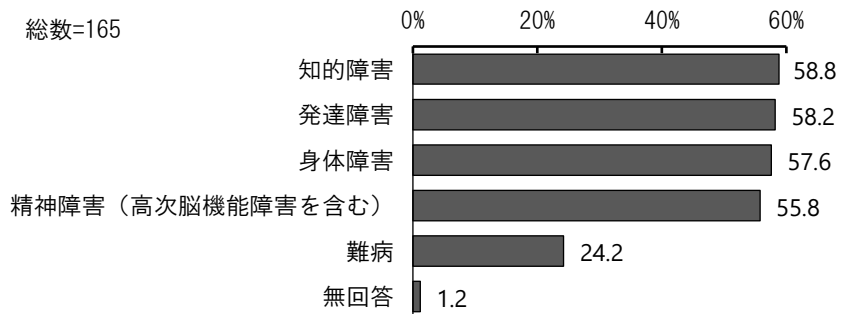


(3)対象としている障害種別等 [複数回答]

問5 貴事業所が主に対象としている障害種別等をお聞きます。(〇はいくつでも)

◆「知的障害」が58.8%

・「知的障害」が58.8%で最も多く、次いで「発達障害」58.2%、「身体障害」57.6%、「精神障害（高次脳機能障害を含む）」55.8%、「難病」24.2%となっています。

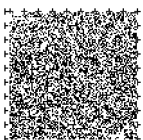
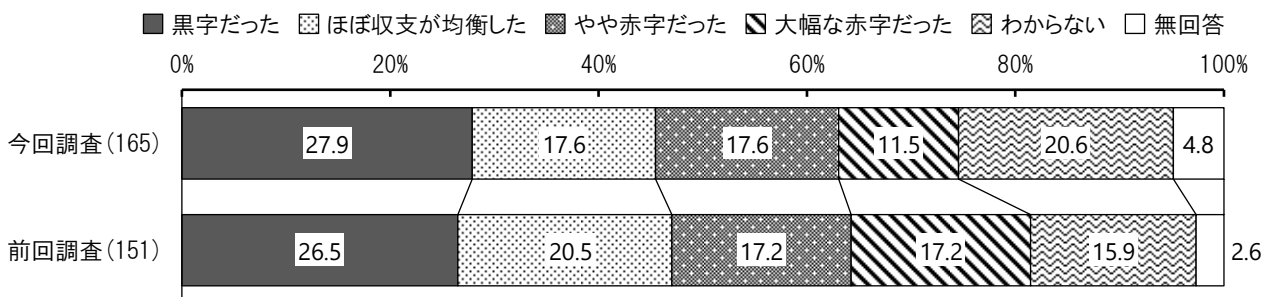


(4)事業収支

問7 貴事業所の令和6年度の事業の収支をお聞きます。(〇はひとつ)

◆「黒字だった」が27.9%

・「黒字だった」が27.9%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡した」と「やや赤字だった」が17.6%、「大幅な赤字だった」が11.5%となっています。「わからない」は20.6%となっています。

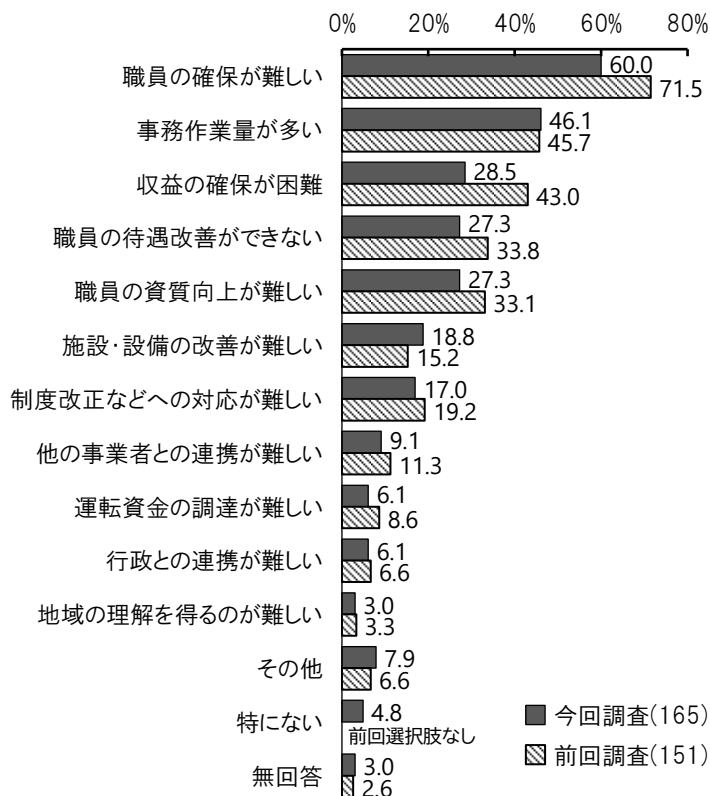


(5)経営上の課題 [複数回答]

問8 貴事業所を経営していく上で課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「職員の確保が難しい」が60.0%

・「職員の確保が難しい」が60.0%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が46.1%、「収益の確保が困難」が28.5%などとなっています。

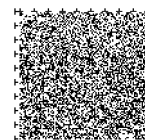
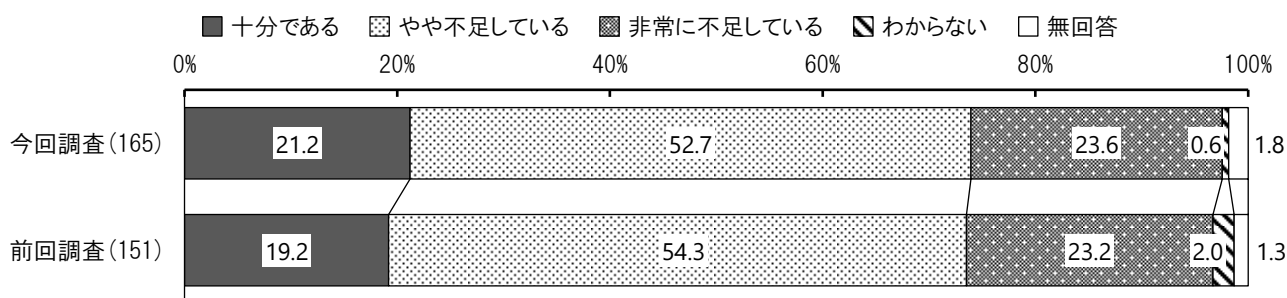


(6)職員の充足状況

問10 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況(人手)はいかがですか。(〇はひとつ)

◆「やや不足している」が52.7%

・「やや不足している」が52.7%で最も多く、次いで「非常に不足している」が23.6%、「十分である」が21.2%、「わからない」が0.6%となっています。

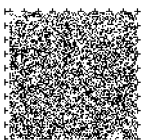
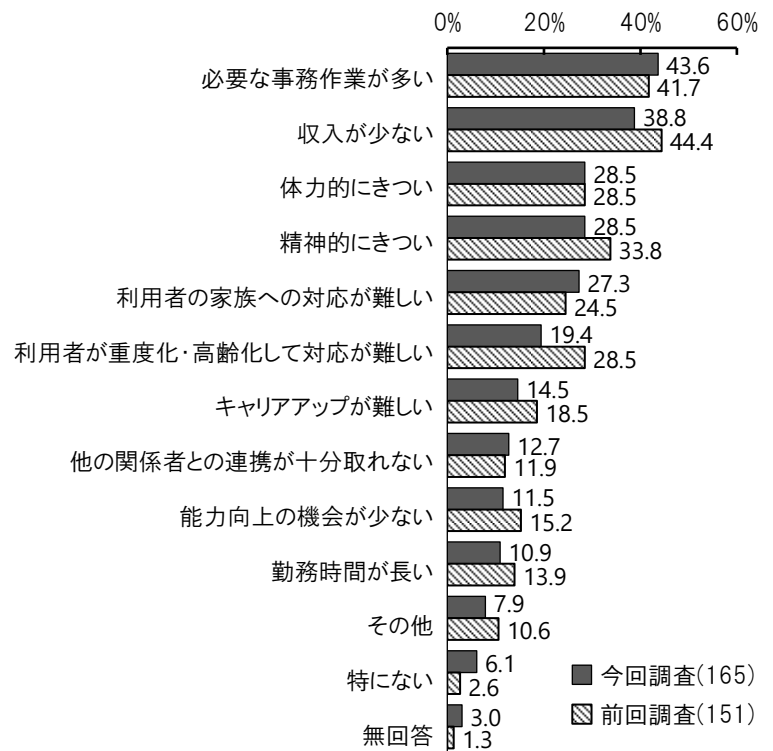


(7)職員が困っていること [複数回答]

問13 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

◆「必要な事務作業が多い」が43.6%

・「必要な事務作業が多い」が43.6%で最も多く、次いで「収入が少ない」が38.8%、「体力的にきつい」と「精神的にきつい」が28.5%などとなっています。

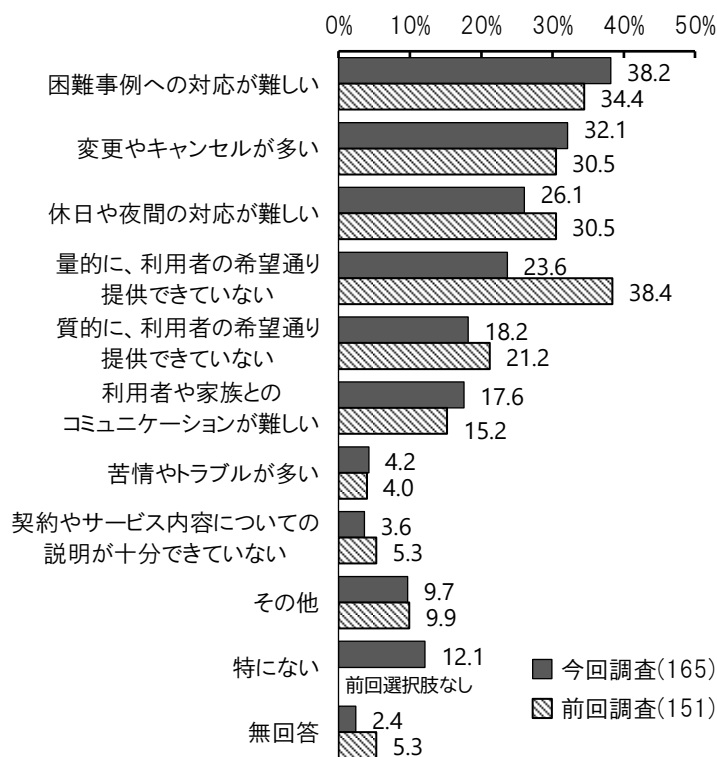


(8) サービス提供の課題 [複数回答]

問14 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「困難事例への対応が難しい」が38.2%

・「困難事例への対応が難しい」が38.2%で最も多く、次いで「変更やキャンセルが多い」が32.1%、「休日や夜間の対応が難しい」が26.1%などとなっています。

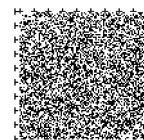
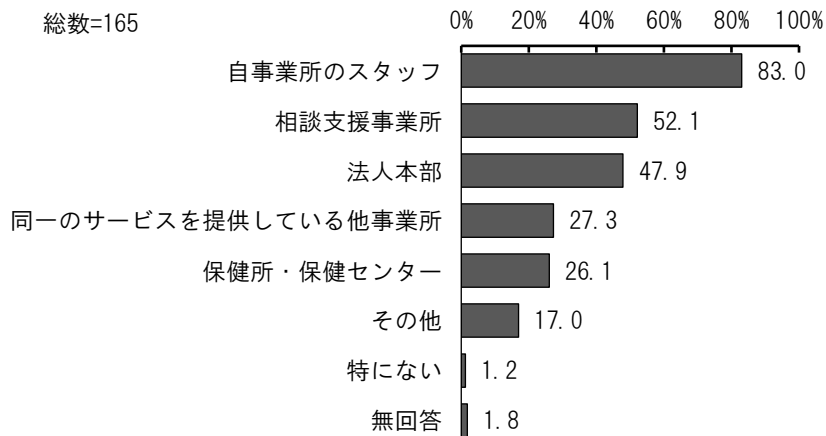


(9) 利用者支援で困った時の相談先 [複数回答]

問15 貴事業所で、利用者支援で困った時の相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

◆「自事業所のスタッフ」が83.0%

・「自事業所のスタッフ」が83.0%で最も多く、次いで「相談支援事業所」が52.1%、「法人本部」が47.9%などとなっています。

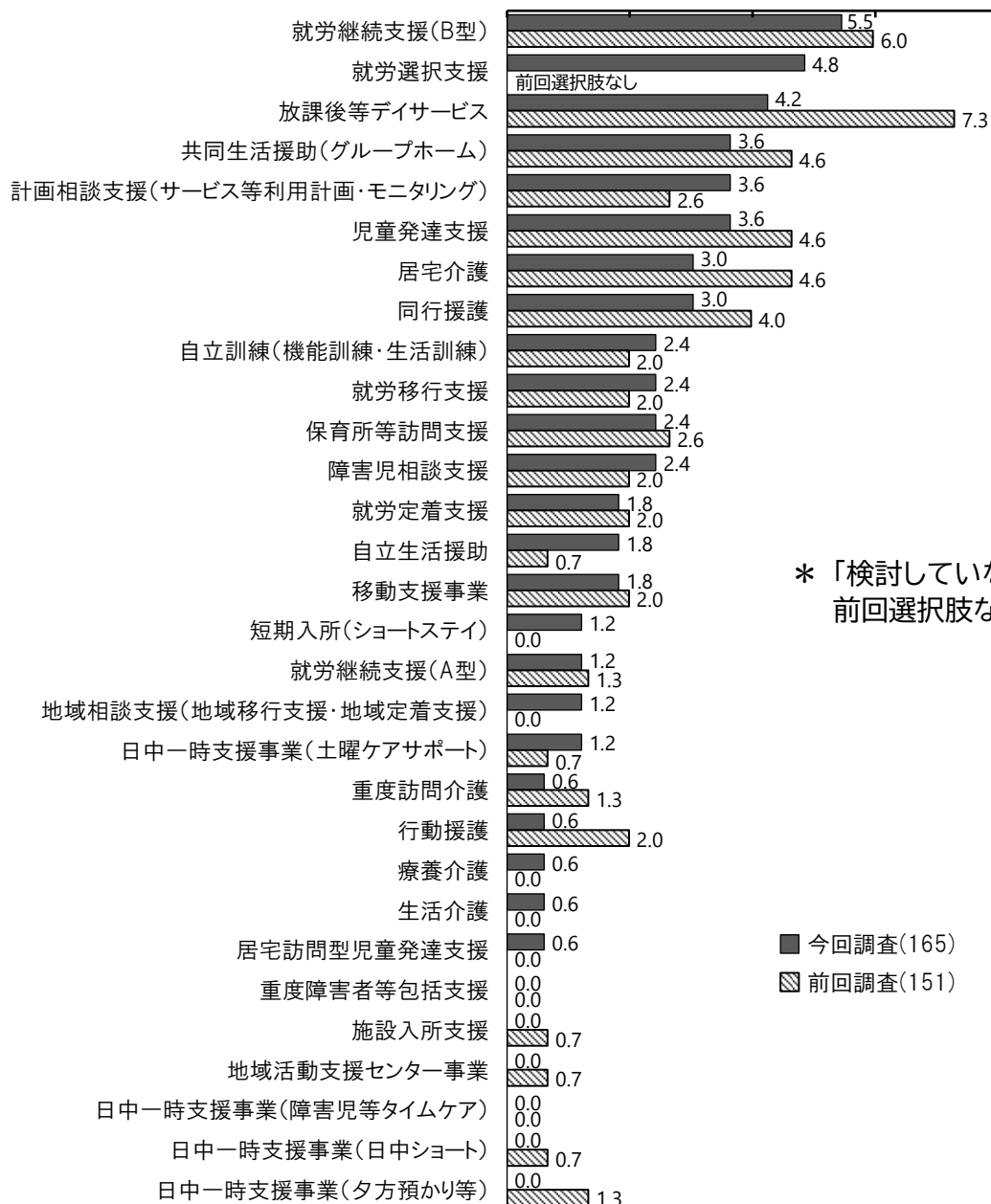
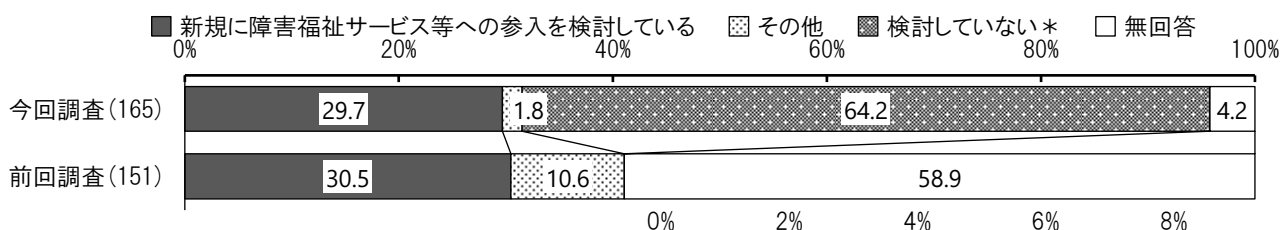


(10)新規サービスへの参入予定 [複数回答]

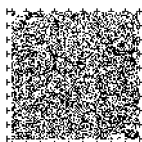
問18 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。
(○はいくつでも)

◆『新規に障害福祉サービス等への参入を検討している』事業者は29.7%、
サービス別では「就労継続支援(B型)」が5.5%

- ・回答者全体から「検討していない」及び「その他」と回答した事業者と無回答の事業者を差し引いた『新規に障害福祉サービス等への参入を検討している』事業者は29.7%となっています。
- ・「就労継続支援(B型)」が5.5%で最も多く、次いで「就労選択支援」が4.8%、「放課後等デイサービス」が4.2%などとなっています。「検討していない」は64.2%となっています。



*「検討していない」は、
前回選択肢なし

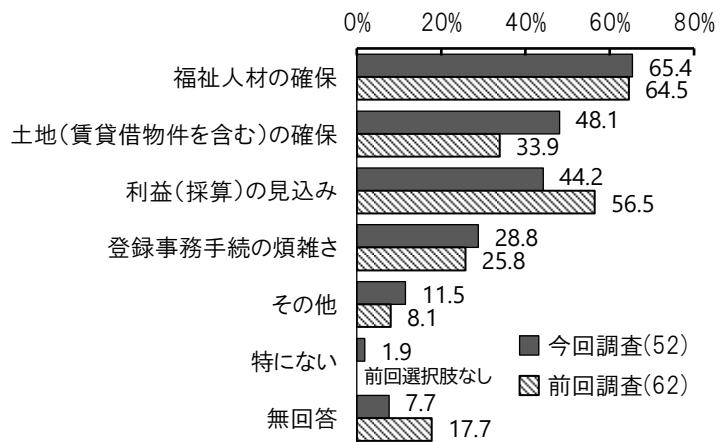


(11)新規サービスへの参入にあたっての課題 [複数回答]

問19 新規サービスへの参入予定がある事業所にお聞きします。参入にあたって課題となるものは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「福祉人材の確保」が65.4%

・「福祉人材の確保」が65.4%で最も多く、次いで「土地(賃貸借物件を含む)の確保」が48.1%、「利益(採算)の見込み」が44.2%などとなっています。

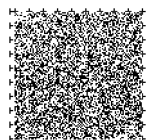
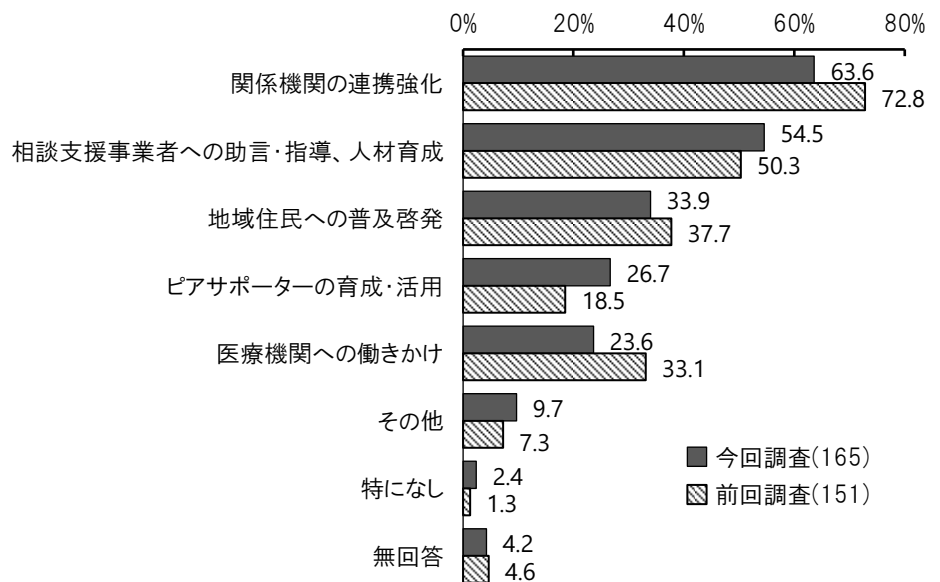


(12)障害者が暮らしやすい地域づくりのために力を入れるべきこと [複数回答]

問26 障害者が暮らしやすい地域づくりのために、区が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

◆「関係機関の連携強化」が63.6%

・「関係機関の連携強化」が63.6%で最も多く、次いで「相談支援事業者への助言・指導、人材育成」が54.5%、「地域住民への普及啓発」が33.9%などとなっています。

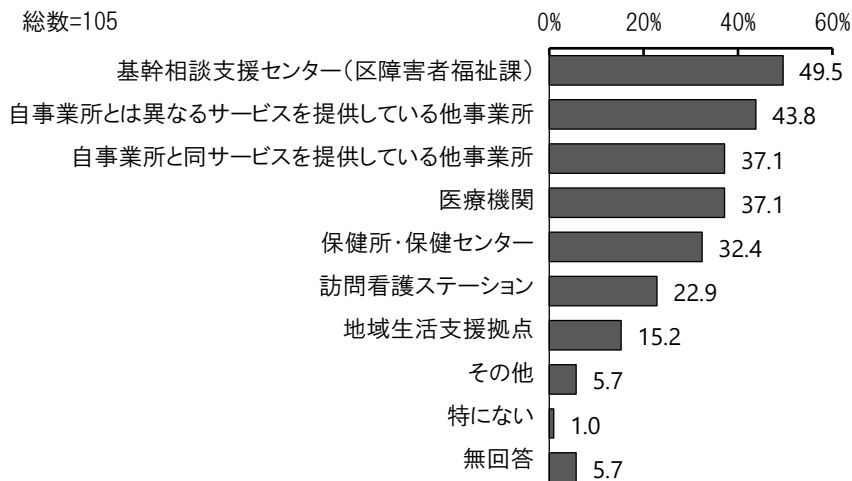


(13)連携強化が必要だと感じる対象 [複数回答]

問27 問26で「関係機関の連携強化」が必要だと回答した事業所の方にお聞きします。連携強化が必要だと感じる対象は何だと思いますか。(〇は3つまで)

◆「基幹相談支援センター(区障害者福祉課)」が49.5%

・「基幹相談支援センター(区障害者福祉課)」が49.5%で最も多く、次いで「自事業所とは異なるサービスを提供している他事業所」が43.8%、「自事業所と同サービスを提供している他事業所」と「医療機関」が37.1%などとなっています。

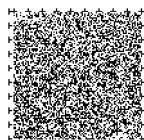
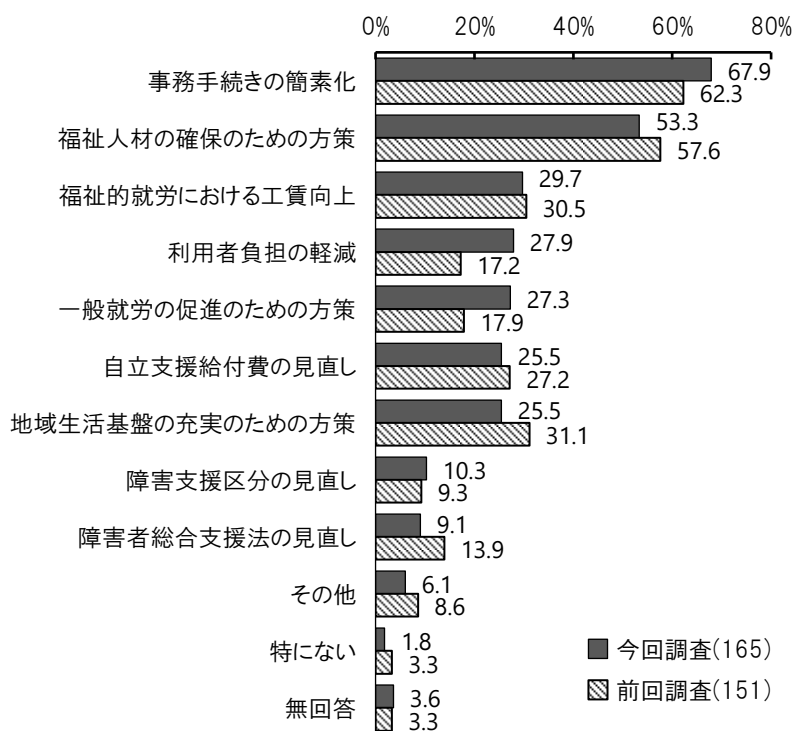


(14)障害者施策に期待すること [複数回答]

問28 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。(〇はいくつでも)

◆「事務手続きの簡素化」が67.9%

・「事務手続きの簡素化」が67.9%で最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が53.3%、「福祉的就労における工賃向上」が29.7%などとなっています。



この刊行物は、業務委託により350部印刷製本しています。その経費として1部あたり550円(税別)かかっています。ただし、編集時の職員人件費等は含んでいません。

新宿区障害者生活実態調査報告書 概要版

刊行物作成番号 2025-16-2910

発行年月 令和8年3月

編集・発行 新宿区 福祉部 障害者福祉課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話 03(5273)4516

ファクス 03(3209)3441

